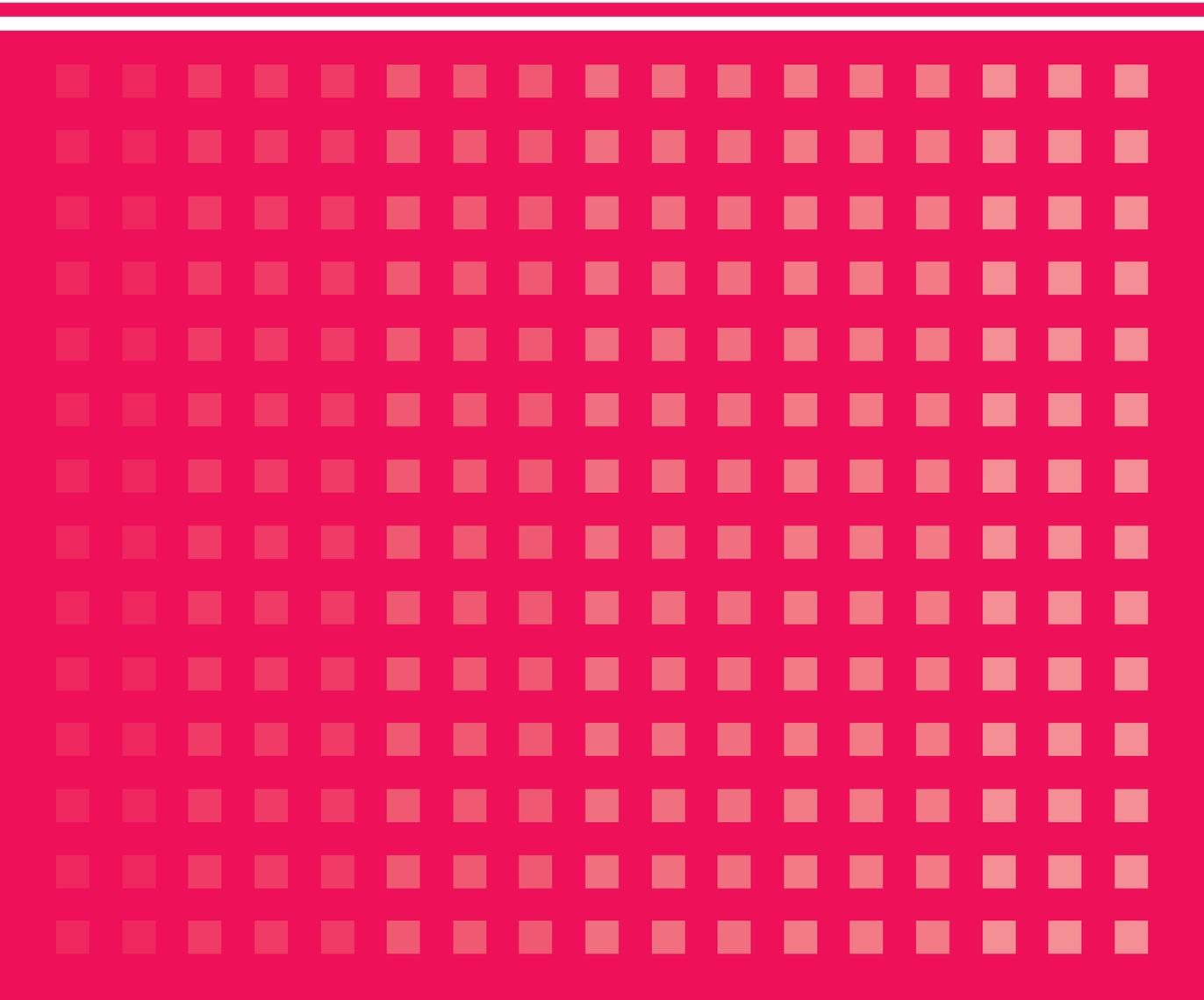


2019年度 国立大学法人  
長崎大学概要

NAGASAKI UNIVERSITY



# 理 念

長崎大学は、長崎に根づく伝統的文化を継承しつつ、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造することによって、社会の調和的発展に貢献する。

## 基本的目標

長崎大学は、東シナ海を介して大陸と向き合う地理的環境と出島、原爆被ばくなどの記憶を有する地域に在って、長年にわたり培ってきた大学の個性と伝統を基盤に、新しい価値観と個性輝く人材を創出し、大きく変容しつつある現代世界と地域の持続的発展に寄与する。第3期中期目標期間においては、具体的に以下の項目を基本的目標として設定し、新しい学長主導ガバナンス体制の下、改革を迅速かつ大胆に推進する。

- (1) 熱帯医学・感染症、放射線医療科学分野における卓越した実績を基盤に、予防医学や医療経済学等の関連領域を学際的に糾合して、人間の健康に地球規模で貢献する世界的“グローバルヘルス”教育研究拠点となる。
- (2) 全ての教育研究領域の高度化、国際化を推進するとともに、国内外のトップレベルの大学との連携の強化及び実質化、管理運営・人事システム改革、学内資源の適正再配置等をととして、大学全体の総合力を格段に向上させ、世界最高水準の総合大学への進化のための基盤を構築する。
- (3) グローバル化する社会の要請に応えるべく、国際水準の教育、キャンパスの国際化、日本人学生の留学の飛躍的拡大の実現に向けた戦略的かつ包括的な教育改革を推進し、地域の課題を掘り下げる能力と、多文化が共生する国際社会の現場で活躍する力を兼ね備えた長崎大学ブランド人材を育成する。
- (4) 特に学部教育においては、学生参加型の新しい教養教育と世界標準の学部専門教育との有機的結合により、問題解決能力・創造的思考力・コミュニケーションスキル等の学士力と各専門分野の知識・素養に裏打ちされ、現実の課題に即応できる個性輝く学士を育成する。また、新しい大学教育を高校教育改革と効果的に接続させるため、多面的かつ基盤的な資質・能力を測るための新しい入学者選抜方法を先進的に開発・導入する。
- (5) 地域に基盤を置く総合大学として、地域のニーズに寄り添いつつ、教育研究の成果を地域の行政、産業、保健医療、教育、観光に還元し、グローバル化時代における地域創生の原動力となる。特に、海洋エネルギー、海洋生物資源、水環境、地域福祉医療、核兵器廃絶など、地域社会の持続的発展に大きく貢献し、かつ、地球規模課題にも直結する特色分野における教育研究を重点的に推進する。また、東日本大震災直後から継続している福島との協働を強化し、福島の未来創造に貢献する。

# 目 次

## 沿革

沿革	2
----	---

## 組織

機構図	11
歴代学長	13
役員会	14
学長選考会議委員	14
経営協議会委員	14
教育研究評議会委員	14
役職員	15
役員・職員数	17

## 教育研究等

学部	
多文化社会学部	18
教育学部	18
経済学部	18
医学部	18
歯学部	18
薬学部	18
工学部	18
環境科学部	18
水産学部	18
大学院	
多文化社会学研究科	18
教育学研究科	18
経済学研究科	18
工学研究科	19
水産・環境科学総合研究科	19
医歯薬学総合研究科	19
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	19
学年暦	19

## 附属施設等

附置研究所 熱帯医学研究所	20
附置研究所 原爆後障害医療研究所	20
附属図書館	20
病院	21
教育学部附属学校・園	22

学部等附属教育研究施設	23
保健・医療推進センター	23
学内共同教育研究施設等	23
長崎大学教育研究プロジェクト拠点	24
国際交流推進室	24

## 特色ある教育・研究

特色ある教育	25
特色ある研究	26

## 学生数等

学生数	27
平成31年度入学者状況	29
平成30年度卒業生（修了者）及び進路状況	30
過去5年間の進路状況の推移	31
学位授与数	32

## 国際交流

平成31年度外国人留学生	33
海外の大学等との学術交流協定締結状況	34
教員の海外渡航及び 外国人研究者受入数（平成30年度）	41

## 社会貢献

産学連携	42
------	----

## 財政

平成30年度予算額	43
外部資金等	43

## キャンパス

文教キャンパス	44
坂本キャンパス	45
片淵キャンパス	47
厚生補導施設等	48
土地・建物・船舶	49
部局等所在地一覧	51
長崎大学位置図	53
長崎大学ロゴマーク	54



# 沿革

安政4（1857）年11月12日、オランダ軍医ポンペ・ファン・メールデルフォールトが、幕府医官松本良順をはじめとする12名に対し、オランダ語による医学講義を開始した。この医学部の起源である医学伝習所の設置が長崎大学の創基である。

安政4. 11 (1857年)	・医学伝習所設置	11. 1 (1878年)	・長崎病院医学場を長崎医学校と改称
萬延元 (1860年)	・市民対象の病院機能、化学・薬剤、図書館、解剖施設、臨床実習機能を完備した養生所を開設（長崎大学病院の起源）	2	・官立長崎師範学校廃止。建物及び備品は長崎県に移管
文久元. 9 (1861年)	・養生所を拡充して医学所を養生所横に併置（医学教育機関としての整備が完了）	6	・崎陽師範学校を長崎師範学校と改称
慶応元 (1865年)	・養生所を精得館と改称。10月、物理・化学などの基礎科学教育機関である分析窮理所を設置	12. 1 (1879年)	・長崎医学校を県立とし、長崎病院を医学校附属に代用
明治元. 10 (1868年)	・精得館を長崎府医学校と改称	16 (1883年)	・文部省令医学校通則に基づいて、長崎医学校は甲種医学校（卒業後無試験で医師免許を授与。全国で13校）に指定される
2 (1869年)	・長崎県病院医学校	17. 6 (1884年)	・長崎県女子師範学校設置
4. 10 (1871年)	・長崎県病院医学校が文部省所管となり、長崎医学校と改称	19. 4 (1886年)	・長崎県女子師範学校が長崎師範学校女子部となる
7 (1874年)	・台湾出兵により、長崎医学校廃止。病院は藩地事務支局病院となる	6	・長崎師範学校女子部に附属幼稚園を設置
2	・官立長崎師範学校設置	6	・師範学校令が公布され、長崎師範学校は長崎県尋常師範学校と改称
3	・長崎県小学教則講習所設置	20. 8 (1887年)	・中学校令に基づいて第五高等中学校医学部を設置。9月、長崎医学校は廃止
8 (1875年)	・台湾出兵終了により、藩地事務支局病院の建物等が長崎県に復帰。政府補助のもと長崎病院を設置	23. 6 (1890年)	・第五高等中学校医学部に薬学科を設置（薬学部の起源）
2	・長崎県小学教則講習所を養成所と改称	24. 9 (1891年)	・西彼杵郡浦上山里村に第五高等中学校医学部、同薬学科が新築移転（坂本キャンパスの設置起源）
11	・官立長崎師範学校附属小学校開設	27. 9 (1894年)	・高等学校令に基づいて第五高等中学校医学部は第五高等学校医学部及び同薬学科と改称
9. 1 (1876年)	・養成所を小学教師養成所と改称	31. 4 (1898年)	・師範教育令に基づいて、長崎県尋常師範学校は長崎県師範学校と改称
5	・小学教師養成所を長崎県公立師範学校と改称	34. 3 (1901年)	・専門学校令に基づいて、第五高等学校医学部は第五高等学校から分離独立し長崎医学専門学校及び同薬学科を設置
6	・長崎病院内に医学場を開設し、医学教育機関が再開		
10. 4 (1877年)	・長崎県公立師範学校を崎陽師範学校と改称		

36 (1903年)	・長崎県立長崎病院に附属看護婦養成所を設置	14. 5 (1939年)	・長崎医科大学に臨時附属医学専門部設置
38. 3 (1905年)	・長崎高等商業学校を設置（経済学部、片淵キャンパスの起源）	17. 3 (1942年)	・長崎県青年学校教員養成所女子部を諫早高等女学校内に開設
41. 4 (1908年)	・長崎県師範学校女子部が長崎県女子師範学校として分離独立	3	・長崎医科大学附属東亜風土病研究所設置（熱帯医学研究所の起源）
大正 6. 5 (1917年)	・長崎高等商業学校に海外貿易科を設置	9	・長崎高等商業学校研究館を大東亜経済研究所と改称
9. 11 (1920年)	・長崎高等商業学校に研究館が寄附される（現在の瓊林会館）	18. 4 (1943年)	・師範教育令改正に基づいて、長崎県師範学校・長崎県女子師範学校が統合されて官立長崎師範学校となり、専門学校水準に昇格
10 (1921年)	・長崎県実業補習学校教員養成所を諫早町に設置	19. 3 (1944年)	・長崎高等商業学校を長崎経済専門学校に改称
11. 4 (1922年)	・長崎県より長崎病院が国に寄附され、これを長崎医学専門学校附属医院とする	4	・長崎経済専門学校に長崎工業経営専門学校を併設
	・附属医院に助産婦及看護婦養成所を設置		・師範教育令改正に基づいて、長崎県青年学校教員養成所（男子部・女子部）は官立長崎青年師範学校となり、専門学校水準に昇格、長崎県青年学校教員養成所水産科は廃止
12. 3 (1923年)	・官立医科大学官制によって長崎医学専門学校は長崎医科大学に昇格し、附属医学専門部及び附属薬学専門部を併置		・長崎医科大学の臨時附属医学専門部を附属医学専門部に改称
	・長崎医学専門学校附属医院は長崎医科大学附属医院となり、助産婦及看護婦養成所を併置	20. 6 (1945年)	・長崎医科大学附属医院産婆看護婦養成所を厚生女学部へ改称
14. 4 (1925年)	・長崎医科大学附属医学専門部廃止	8	・長崎市に原爆投下 長崎医科大学（附属医学専門部、附属薬学専門部を含む）897名、長崎師範学校54名、長崎高等商業学校27名、長崎青年師範学校1名の計979名の学生、教職員が犠牲となる
昭和 3 (1928年)	・長崎県実業補習学校教員養成所に水産科新設（水産学部の起源）		
4. 2 (1929年)	・長崎医科大学附属医院助産婦及看護婦養成所を産婆看護婦養成所に改称		
3	・長崎高等商業学校に貿易別科設置		
12	・長崎医科大学附属野母臨海実験所落成		
10. 4 (1935年)	・長崎県実業補習学校教員養成所を長崎県立青年学校教員養成所と改称		
12. 4 (1937年)	・長崎県師範学校、西彼杵郡西浦上村に新築移転（現在の附属小・中学校敷地）		

・原爆被災後の復興の歴史は次のとおりです。

21. 4 (1946年)	・長崎工業経営専門学校廃止。大東亜経済研究所を産業経営研究所と改称	29. 4 (1954年)	・長崎大学大村分校を長崎大学分校と改称
	・長崎医科大学附属東亜風土病研究所, 同風土病研究所と改称	30. 4 (1955年)	・経済学部 to 経済学専攻科設置
22. 3 (1947年)	・長崎医科大学附属医学専門部廃止		・医学部に講座制施行
5	・長崎高等学校 (旧制) 設置		・大学院医学研究科設置
23. 4 (1948年)	・長崎青年師範学校に水産科再設置		・医学部に附属助産婦学校設置
24. 5 (1949年)	・国立学校設置法 (昭和24年法律第150号) により, 旧制の長崎医科大学, 長崎医科大学附属薬学専門部, 長崎経済専門学校, 長崎師範学校, 長崎青年師範学校, 長崎高等学校を包括し, 学芸学部 (甲類・小学校教員養成科, 中学校高等学校教員養成科, 乙類・小学校教員養成科, 中学校高等学校教員養成科), 経済学部 (経済学科, 商学科), 医学部 (医学科), 薬学部 (薬学科), 水産学部 (漁業学科, 水産製造学科, 水産増殖学科) の5学部 to 附属図書館を置き, 風土病研究所が附置され, 学部附属の学校又は教育施設として, 学芸学部 to 小学校, 中学校, 幼稚園, 医学部に病院, 病院分院, 看護婦養成施設を持つ新制長崎大学を設置	31. 1 (1956年)	・補導部を学生部と改称
		4	・薬学部 to 薬学専攻科設置
		35. 3 (1960年)	・長崎医科大学廃止
		4	・水産学部 to 水産専攻科設置
		37. 4 (1962年)	・医学部に附属原爆後障害医療研究施設設置
		39. 4 (1964年)	・教養部設置 (分校廃止)
			・水産学部 to 附属練習船「長崎丸」設置
		40. 3 (1965年)	・薬学専攻科廃止
		4	・大学院薬学研究科設置
			・学芸学部 to 学芸専攻科設置
		41. 4 (1966年)	・保健管理センター設置
			・工学部 (機械工学科, 電気工学科) 設置
昭和25. 3 (1950年)	・長崎高等学校廃止		・学芸学部を教育学部と改称, これに伴い学芸専攻科を教育専攻科に改称
5	・大村一般教養部, 長崎一般教養部を統合して大村分校設置	42. 4 (1967年)	・教育学部に養護学校教員養成課程設置
			・薬学部 to 製薬化学科設置
26. 3 (1951年)	・長崎大学商業短期大学部併設		・工学部に構造工学科設置
	・医学部附属看護学校設置		・風土病研究所を熱帯医学研究所と改称
	・長崎医科大学附属薬学専門部, 長崎経済専門学校, 長崎師範学校, 長崎青年師範学校廃止	6	・水産学部 to 附属水産実験所設置
6	・厚生補導部を補導部と改称	43. 4 (1968年)	・経済学部 to 貿易学科設置
28. 3 (1953年)	・学芸学部が長崎市大橋町に移転 (現在の文教キャンパス)	44. 4 (1969年)	・工学部に土木工学科設置
4	・水産学部 to 専攻科 (特設専攻科) 設置	12	・電子計算機室設置

45. 4 (1970年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産専攻科改廃止（漁業専攻中の特設専攻科を遠洋漁業専攻と改称し、漁業専攻、水産製造専攻、水産増殖専攻は廃止）</li> <li>・大学院水産学研究科設置</li> <li>・工学部に材料工学科設置</li> </ul>	51. 4 (1976年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工学部に電子工学科設置</li> <li>・大学院工学研究科設置（機械工学・電気工学・構造工学・材料工学）</li> <li>・工学研究科に工業化学専攻設置</li> <li>・九州地区国立大学島原共同研修センター設置</li> </ul>
46. 2 (1971年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・附属図書館の整備統合（教育学部分館、薬学部分館、水産学部分館、熱帯医学研究所分館廃止・経済学部分館、医学部分館は従来どおり存置）</li> </ul>	52. 4 (1977年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工学研究科に土木工学専攻設置</li> <li>・工学専攻科廃止</li> <li>・歯学部創設準備室設置</li> <li>・商業短期大学部商業学科を商経学科（経済・法律専攻、経営情報専攻）と改称</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育学部に附属養護学校設置</li> <li>・経済学部商学科を経営学科と改称</li> <li>・大学院薬学研究科に製薬化学専攻設置</li> <li>・工学部に工学専攻科（機械工学、電気工学、構造工学）設置</li> </ul>	53. 3 (1978年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R Iセンター設置</li> <li>・工学部に機械工学第二学科設置</li> </ul>
47. 4 (1972年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工学部に工業化学科設置</li> </ul>	54. 4 (1979年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱帯医学研究所に附属熱帯性病原体感染動物実験施設設置</li> <li>・附属図書館医学部分館を医学分館と改称</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部に附属原爆医学資料センター設置</li> <li>・薬学部に附属薬用植物園設置</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報処理センター設置（電子計算機室廃止）</li> </ul>
48. 4 (1973年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産学部の漁業学科、水産製造学科及び水産増殖学科を水産学科に改組</li> <li>・工学部工学専攻科に土木工学専攻設置</li> <li>・教育学部に附属教育工学センター設置</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯学部歯学科設置</li> <li>・歯学部創設準備室廃止</li> </ul>
49. 4 (1974年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院水産学研究科漁業学専攻、水産製造学専攻及び水産増殖学専攻を水産学専攻に改称</li> <li>・工学部工学専攻科に材料工学専攻設置</li> <li>・教育学部に幼稚園教員養成課程設置</li> <li>・医学部附属原爆医学資料センターを医学部附属原爆被災学術資料センターと改称</li> <li>・熱帯医学研究所に附属熱帯医学資料室設置</li> </ul>	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水等分析処理センター設置（排水等分析センター廃止）</li> </ul>
50. 4 (1975年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産学部に附属練習船「鶴洋丸」設置</li> </ul>	55. 4 (1980年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部に附属動物実験施設設置</li> <li>・歯学部に附属病院創設準備室設置</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水等分析センター設置</li> </ul>	56. 4 (1981年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工学研究科に電子工学専攻設置</li> </ul>
		57. 4 (1982年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯学部附属病院設置</li> <li>・歯学部附属病院創設準備室廃止</li> <li>・商業短期大学部商経学科の専攻課程を2専攻課程から3専攻課程（経済専攻、経済法学専攻、経営情報専攻）に改組</li> </ul>
		58. 4 (1983年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工学研究科に機械工学第二専攻設置</li> <li>・医療技術短期大学部創設準備室設置</li> <li>・国際交流会館設置</li> </ul>

59. 4 (1984年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療技術短期大学部（看護学科）併設</li> <li>・医療技術短期大学部創設準備室廃止</li> <li>・商業短期大学部を商科短期大学部と改称</li> <li>・水産学部水産学科18講座を6大講座に改組</li> </ul>	平成元. 5 (1989年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱帯医学研究所を全国共同利用の研究所に改組</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療技術短期大学部に理学療法学科及び作業療法学科設置</li> </ul>	2. 4 (1990年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工学部機械工学科及び機械工学第二学科を機械システム工学科に改組</li> </ul>
61. 4 (1986年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部附属看護学校廃止</li> <li>・大学院歯学研究科設置</li> <li>・薬学研究科に医療薬科学専攻（博士課程前・後期）設置（薬学専攻及び製薬化学専攻を改組）</li> <li>・薬学部の薬学科及び製薬化学科を薬科学科に改組</li> <li>・教育学部に附属教育実践研究指導センター設置（附属教育工学センター廃止）</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6地域共同研究センター設置</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計測・分析センター設置</li> <li>・外国人留学生指導センター設置</li> </ul>	3. 4 (1991年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済学部経済学科8学科目を3大学科目に、経営学科8学科目を2大学科目に、貿易学科6学科目をファイナンス学科2大学科目に改組、2共通学科目を廃止</li> <li>・工学部構造工学科4講座を2大講座に、土木工学科4講座を社会開発工学科2大講座に、材料工学科4講座を2大講座に、工業化学科4講座を応用化学科2大講座に改組</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全センター設置（排水等分析処理センター廃止）</li> </ul>	4. 4 (1992年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイソトープ総合センター設置（R Iセンター廃止）</li> <li>・大学院工学研究科電気工学専攻及び電子工学専攻を電気情報工学専攻と改称</li> </ul>
62. 4 (1987年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部附属助産婦学校廃止</li> <li>・工学研究科に海洋生産開発学専攻（後期3年博士課程）設置</li> <li>・医療技術短期大学部に専攻科（助産学特別専攻）設置</li> </ul>	5. 4 (1993年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習教育研究センター設置</li> </ul>
63. 4 (1988年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院海洋生産科学研究科（後期3年博士課程）設置</li> <li>・大学院工学研究科海洋生産開発学専攻は、海洋生産科学研究科へ移行</li> <li>・工学部電気工学科及び電子工学科を電気情報工学科に改組</li> <li>・総合情報処理センター設置（情報処理センター廃止）</li> </ul>	6. 4 (1994年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院教育学研究科設置</li> <li>・教育専攻科廃止</li> <li>・大学院工学研究科機械工学専攻及び機械工学第二専攻を機械システム工学専攻と改称</li> </ul>
		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱帯医学研究所10部門を3大部門に改組</li> </ul>
		7. 4 (1995年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院経済学研究科設置</li> <li>・経済学専攻科廃止</li> <li>・大学院工学研究科土木工学専攻を社会開発工学専攻に、工業化学専攻を応用化学専攻に改称</li> </ul>
		8. 5 (1996年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生センター設置（外国人留学生指導センター廃止）</li> </ul>
		9. 4 (1997年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部に附属原爆後障害医療研究施設設置（附属原爆後障害医療研究施設及び附属原爆被災学術資料センター廃止）</li> </ul>

10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産学部に附属海洋資源教育研究センター設置（附属水産実験所廃止）</li> <li>・熱帯医学研究所に附属熱帯病資料情報センター設置（附属熱帯医学資料室廃止）</li> <li>・環境科学部（環境科学科）設置</li> <li>・教養部廃止</li> <li>・経済学部経済学科，経営学科及びファイナンス学科を総合経済学科に改組（昼夜開講制の実施）</li> </ul>	13. 4 (2001年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院生産科学研究科海洋生産開発学専攻及び海洋資源学専攻を海洋生産科学専攻及び物質科学専攻に改組</li> <li>・教育学部に附属教育実践総合センター設置（附属教育実践研究指導センター廃止）</li> <li>・熱帯医学研究所に附属熱帯感染症研究センター設置（附属熱帯病資料情報センター廃止）</li> <li>・医学部医学科の31小講座，1大講座を6大講座に改組</li> </ul>
10. 4 (1998年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育学部小学校教員養成課程，中学校教員養成課程，養護学校教員養成課程及び幼稚園教員養成課程を学校教育教員養成課程及び情報文化教育課程に改組</li> <li>・大学院教育学研究科教科教育専攻に保健体育専修及び家政教育専修設置</li> <li>・工学部電気情報工学科を電気電子工学科及び情報システム工学科に改組</li> <li>・機器分析センター設置（計測・分析センター廃止）</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部に保健学科設置</li> <li>・大学院環境科学研究科設置</li> <li>・大学院医歯薬学総合研究科設置</li> <li>・大学教育機能開発センター設置</li> <li>・アドミッションセンター設置</li> <li>・医学部医学科の6大講座を4大学科目に改組</li> <li>・歯学部歯学科の18小講座を3大学科目に改組</li> </ul>
11. 4 (1999年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院薬学研究科に臨床薬学専攻（独立専攻）を設置し，医療薬科学専攻を薬科学専攻に改称</li> <li>・副学長の設置（学生部長の廃止）</li> <li>・事務局及び学生部の事務局一元化に伴い，学務部設置（学生部の廃止）</li> </ul>	14. 4 (2002年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬学部薬科学科の4大講座を2大学科目に改組</li> <li>・大学院医歯薬学総合研究科に附属原爆後障害医療研究施設及び附属薬用植物園設置（学部附属施設から研究科附属施設へ移行）</li> <li>・先導生命科学研究支援センター設置（アイソトープ総合センター，遺伝子実験施設及び医学部附属動物実験施設の廃止）</li> </ul>
12. 4 (2000年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院教育学研究科教科教育専攻に社会科教育専修及び理科教育専修設置</li> <li>・大学院医学研究科に新興感染症病態制御学系専攻（独立専攻）設置</li> <li>・大学院生産科学研究科（区分制博士課程）設置</li> <li>・遺伝子実験施設設置</li> <li>・長崎大学商科短期大学部（併設）廃止</li> </ul>	15. 4 (2003年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部・歯学部附属病院設置（医学部附属病院及び歯学部附属病院の統合）</li> <li>・国立大学法人法（平成15年法律第112号）により，国立大学法人長崎大学が長崎大学を設置</li> <li>・大学院経済学研究科に経営意思決定専攻（博士後期課程）設置</li> </ul>
		16. 4 (2004年)	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院生産科学研究科に環境共生政策学専攻及び環境保全設計学専攻（博士前期課程）並びに環境科学専攻（博士後期課程）設置</li> <li>・水産学部の水産専攻科廃止</li> <li>・知的財産本部設置</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱帯医学研究所に附属アジア・アフリカ感染症研究施設及び附属熱帯医学ミュージアム設置（附属熱帯感染症研究センター廃止）</li> <li>・保健管理センターを保健・医療推進センターに改組</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報メディア基盤センター設置（総合情報処理センターの廃止）</li> <li>・共同研究交流センター設置（地域共同研究センター、機器分析センター及び環境保全センターの廃止）</li> </ul>	21. 4 (2009年) 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部・歯学部附属病院を病院に改組</li> <li>・男女共同参画推進センター設置（時限設置）</li> </ul>
17. 4 (2005年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画・評価本部設置</li> <li>・国際連携研究戦略本部設置</li> <li>・環東シナ海海洋環境資源研究センター設置（水産学部附属海洋資源教育研究センターの廃止）</li> <li>・心の教育総合支援センター設置（時限設置）</li> <li>・長崎大学医療技術短期大学部（併設）廃止</li> </ul>	22. 4 (2010年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院医歯薬学総合研究科に生命薬科学専攻（修士課程）設置</li> <li>・広報戦略本部設置</li> <li>・国際連携研究戦略本部東京オフィス設置</li> <li>・先端計算研究センター設置</li> </ul>
18. 2 (2006年) 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院海洋生産科学研究科廃止</li> <li>・大学院医歯薬学総合研究科に熱帯医学専攻（修士課程）及び保健学専攻（修士課程）設置</li> <li>・薬学部薬科学科を6年制課程の薬学科及び4年制課程の薬科学科に改組</li> </ul>	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際連携研究戦略本部東京オフィスを長崎大学東京事務所に改組</li> <li>・工学部7学科（機械システム工学科、電気電子工学科、情報システム工学科、構造工学科、社会開発工学科、材料工学科及び応用化学科）を1学科（工学科）に改組</li> <li>・大学院工学研究科及び大学院水産・環境科学総合研究科設置（大学院生産科学研究科を改組）</li> <li>・熱帯医学研究所3部門を4部門（病原体解析、宿主病態解析、環境医学、臨床研究）に改組</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院歯学研究科廃止</li> </ul>	23. 4 (2011年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環東シナ海海洋環境資源研究センターを大学院水産・環境科学総合研究科附属環東シナ海環境資源研究センターに改組</li> <li>・心の教育総合支援センターの廃止</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官連携機構設置</li> </ul>		
19. 2 (2007年) 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院薬学研究科廃止</li> <li>・大学院環境科学研究科廃止</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官連携戦略本部設置（産学官連携機構、知的財産本部、共同研究交流センター及び生涯学習教育研究センターの廃止）</li> </ul>
20. 4 (2008年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育学部学校教育教員養成課程及び情報文化教育課程の2課程を学校教育教員養成課程の1課程に改組</li> <li>・大学院教育学研究科に教科実践専攻（修士課程）及び教職実践専攻（専門職学位課程）設置</li> <li>・大学院国際健康開発研究科設置</li> </ul>	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究推進戦略室設置</li> </ul>
		24. 1 (2012年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先端創薬イノベーションセンター設置</li> </ul>

4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院医歯薬学総合研究科に生命薬科学専攻（博士前期・後期）設置</li> <li>・大学院医学研究科廃止</li> <li>・言語教育研究センター設置</li> <li>・核兵器廃絶研究センター設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産・環境科学総合研究科環境科学専攻（博士前期課程）の設置（環境共生政策学専攻及び環境保全設計学専攻の改組）</li> <li>・インスティテューショナル・リサーチ室の設置</li> </ul>	
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域教育連携・支援センター設置</li> </ul>	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画推進センターをダイバーシティ推進センターに改組</li> </ul>
25. 4 (2013年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原爆後障害医療研究所設置（大学院医歯薬学総合研究科附属原爆後障害医療研究施設を改組）</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生推進本部の設置</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱帯医学研究所附属熱帯性病原体感染動物実験施設の廃止（熱帯医学研究所附属熱帯性病原体感染動物実験施設の機能を先導生命科学研究支援センター動物実験施設へ集約化）</li> </ul>	28. 4 (2016年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医歯薬学総合研究科災害・被災医療科学共同専攻（修士課程）の設置</li> <li>・医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻（博士課程）の設置</li> <li>・原子力災害対策戦略本部の設置</li> <li>・海洋未来イノベーション機構の設置</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい学生支援室の設置</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産・環境科学総合研究科附属環東シナ海環境資源研究センターを海洋未来イノベーション機構環東シナ海環境資源研究センターに改組</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際教育リエゾン機構の設置（留学生センターの廃止）</li> <li>・大学教育イノベーションセンターの設置（大学教育機能開発センター及びアドミッションセンターの統合）</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの心の医療・教育センターの設置</li> </ul>
26. 4 (2014年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究推進戦略本部の設置（研究推進戦略室の廃止）</li> <li>・多文化社会学部の設置</li> <li>・教育学研究科教職実践専攻の改組（教育学研究科教科実践専攻を教職実践専攻に一本化）</li> <li>・ICT基盤センターの設置（情報メディア基盤センターの廃止）</li> <li>・福島未来創造支援研究センターの設置</li> </ul>	29. 4 (2017年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域教育総合支援センターの設置（地域教育連携・支援センター及び教育学部附属教育実践総合センターの統合）</li> <li>・生命医科学域の設置</li> <li>・感染症共同研究拠点の設置</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原爆後障害医療研究所に附属放射線・環境健康影響共同研究推進センター設置</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医歯薬学総合研究科に附属先進予防医学研究センター設置</li> </ul>
27. 4 (2015年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱帯医学・グローバルヘルス研究科（修士課程）の設置（医歯薬学総合研究科熱帯医学専攻及び国際健康開発研究科の改組）</li> </ul>	30. 1 (2018年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インスティテューショナル・リサーチ推進本部の設置（インスティテューショナル・リサーチ室の廃止）</li> <li>・国際健康開発研究科の廃止</li> </ul>
		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化社会学研究科多文化社会学専攻（修士課程）の設置</li> </ul>
		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻（博士後期課程）及び長崎大学ーロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻（博士後期課程）の設置</li> <li>・先端計算研究センターの廃止</li> <li>・生産科学研究科の廃止</li> </ul>

7 ・グローバル連携機構，研究開発推進機構，留学生教育・支援センター及び環境保全センターの設置（国際連携研究戦略本部，産学官連携戦略本部，研究推進戦略本部及び国際教育リエゾン機構の改組）

10 ・校友会の設置

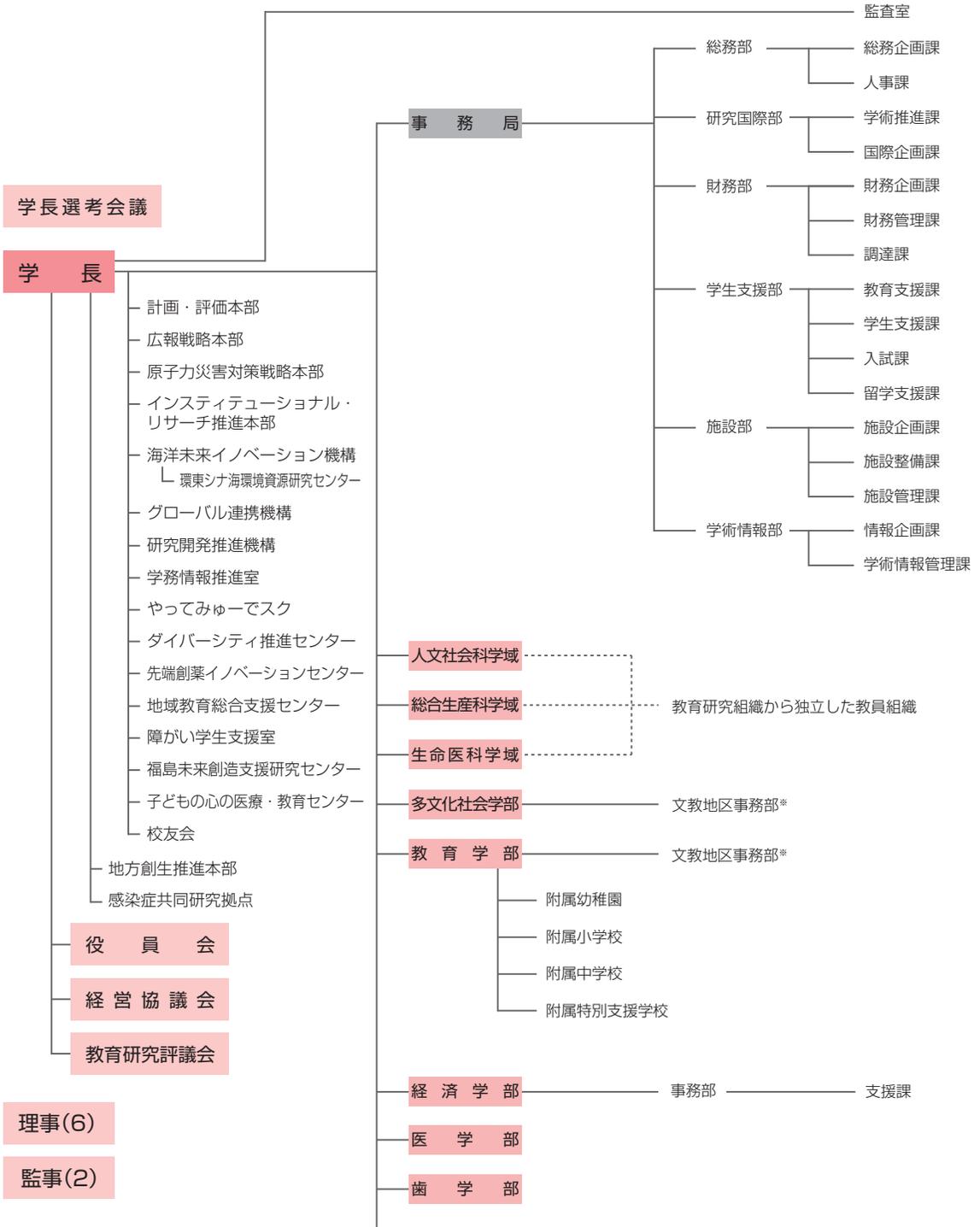
31.4  
(2019年) ・人文社会科学域及び総合生産科学域の設置



# 組織

## 機構図

2019. 7. 1





## 歴代学長

初代	高瀬 清	(任期：昭和24年6月29日～昭和27年6月5日)
(事務取扱)	池田 晋吾	(任期：昭和27年6月6日～昭和27年11月17日)
第2代	古屋野 宏平	(任期：昭和27年11月18日～昭和33年11月17日)
第3代	北村 精一	(任期：昭和33年11月18日～昭和37年11月17日)
第4代	和泉 成之	(任期：昭和37年11月18日～昭和41年11月17日)
第5代	後藤 敏郎	(任期：昭和41年11月18日～昭和44年4月3日)
(事務取扱)	栗原 道徳	(任期：昭和44年4月4日～昭和44年5月6日)
第6代	中塚 正行	(任期：昭和44年5月7日～昭和49年7月31日)
(事務取扱)	保田 正人	(任期：昭和49年8月1日～昭和49年10月10日)
第7代	具島 兼三郎	(任期：昭和49年10月11日～昭和55年10月10日)
第8代	福見 秀雄	(任期：昭和55年10月11日～昭和59年10月10日)
第9代	保田 正人	(任期：昭和59年10月11日～昭和63年10月10日)
第10代	土山 秀夫	(任期：昭和63年10月11日～平成4年10月10日)
第11代	横山 哲夫	(任期：平成4年10月11日～平成10年10月10日)
第12代	池田 高良	(任期：平成10年10月11日～平成14年10月10日)
第13代	齋藤 寛	(任期：平成14年10月11日～平成20年10月10日)
第14代	片峰 茂	(任期：平成20年10月11日～平成29年9月30日)
第15代	河野 茂	(任期：平成29年10月1日～現在 )

## 役員会

2019. 5. 1

議長	河野 茂	学長	下川 功	理事（研究・国際担当）
	福永 博俊	理事（総務担当）	藤木 卓	理事（社会・地域貢献担当）
	横町 直明	理事（財務担当）	中尾 一彦	理事（病院担当）
	塚元 和弘	理事（教学担当）		

## 学長選考会議委員

2019. 5. 1

議長	永田 泉	一般財団法人平成紫川会小倉記念病院院長	橘 勝康	水産学部長
	福永 博俊	理事	松田 浩	工学研究科長
	横町 直明	理事	谷口 功	独立行政法人国立高等専門学校機構理事長
	深浦 厚之	経済学部長	野田 定延	長崎県立長崎東中学校・長崎東高等学校校長 (長崎県高等学校長協会会長)
	永安 武	医学部長	田上 富久	長崎市長
	尾野村 治	薬学部長	宮脇 雅俊	株式会社十八銀行取締役会長
	山下樹三裕	環境科学部長	高田 明	株式会社A and Live 代表取締役

## 経営協議会委員

2019. 5. 1

議長	河野 茂	学長	安田 尚代	安田外国法事務弁護士事務所外国法事務弁護士
	福永 博俊	理事	谷口 功	独立行政法人国立高等専門学校機構理事長
	横町 直明	理事	広岡 敦子	住友化学株式会社執行委員
	下川 功	理事	杉田 亮毅	株式会社日本経済新聞社参与
	中尾 一彦	理事	中村 法道	長崎県知事
	松元 浩一	教育学部長	田上 富久	長崎市長
	深浦 厚之	経済学部長	野田 定延	長崎県立長崎東中学校・長崎東高等学校校長 (長崎県高等学校長協会会長)
	永安 武	医学部長	宮脇 雅俊	株式会社十八銀行取締役会長
	橘 勝康	水産学部長	坂井 俊之	協和機電工業株式会社取締役相談役
	松田 浩	工学研究科長	永田 泉	一般財団法人平成紫川会小倉記念病院院長
			高田 明	株式会社A and Live 代表取締役

## 教育研究評議会委員

2019. 5. 1

議長	河野 茂	学長	橘 勝康	水産学部長
	福永 博俊	理事	首藤 明和	多文化社会学研究科長
	横町 直明	理事，事務局長	松田 浩	工学研究科長
	塚元 和弘	理事	萩原 篤志	水産・環境科学総合研究科長
	下川 功	理事，人文社会科学域長	川上 純	医歯薬学総合研究科長
	藤木 卓	理事	北 潔	熱帯医学・グローバルヘルス研究科長
	中尾 一彦	理事，病院長	森田 公一	熱帯医学研究所長
	葉柳 和則	多文化社会学部長	宮崎 泰司	原爆後障害医療研究所長
	松元 浩一	教育学部長	増崎 英明	附属図書館長
	深浦 厚之	経済学部長	吉田 文彦	核兵器廃絶研究センター長
	永安 武	医学部長	森口 勇	総合生産科学域長
	村田比呂司	歯学部長	西田 教行	生命医科学域長
	尾野村 治	薬学部長	澤井 照光	医学部保健学科長
	山下樹三裕	環境科学部長		

## 役職員

役員	
学長	河野 茂
理事（総務担当）	福永 博俊
理事（財務担当）	横町 直明
理事（教学担当）	塚元 和弘
理事（研究・国際担当）	下川 功
理事（社会・地域貢献担当）	藤木 卓
理事（病院担当）	中尾 一彦
監事	渡辺 敏則
監事（非常勤）	平松喜一郎
執行役員 人文社会科学域担当	下川 功
執行役員 総合生命科学域担当	森口 勇
執行役員 生命医科学域担当	西田 教行

副学長	
計画評価担当	福永 博俊
教務担当	塚元 和弘
研究企画・国際担当	下川 功
産学連携担当	山本 郁夫
情報担当	小林 透
学生担当	赤石 孝次
入試担当	阪倉 良孝
地域教育連携担当	中村 典生
社会貢献担当	辻野 彰
BSL-4 施設設置計画担当	二村 英介
国際交流担当	冨田 彰秀
環境・施設担当	原田 哲夫
ダイバーシティ推進担当	吉田 ゆり
海洋研究担当	武田 重信

学長特別補佐・学長補佐	
感染症共同研究拠点・核兵器廃絶研究	調 漸
福島復興・原子力災害担当	山下 俊一
病院改革推進担当	増崎 英明
学長補佐	深尾 典男
学長補佐	津留崎和義
学長補佐	一瀬 邦弘
学長補佐	宮崎 拓郎
学長補佐	近藤智恵子

計画・評価本部	
本部長	河野 茂

広報戦略本部	
本部長	宮 一則
広報戦略課長／校友会・基金室長	本田 靖幸

原子力災害対策戦略本部	
本部長	中尾 一彦
事務局長	平山 忠

インスティテュショナル・リサーチ推進本部	
本部長	河野 茂

海洋未来イノベーション機構	
機構長	武田 重信
環東シナ海環境資源研究センター長	征矢野 清

グローバル連携機構	
機構長	下川 功

研究開発推進機構	
機構長	下川 功

学務情報推進室	
室長	塚元 和弘

やってみゅーでスク	
デスク長	赤石 孝次

ダイバーシティ推進センター	
センター長	吉田 ゆり

先端創薬イノベーションセンター	
センター長	田中 義正

地域教育総合支援センター	
センター長	中村 典生

障がい学生支援室	
室長	塚元 和弘

福島未来創造支援研究センター	
センター長	藤木 卓

子どもの心の医療・教育センター	
センター長	調 漸

地方創生推進本部	
本部長	藤木 卓
キャリア支援センター長	赤石 孝次

感染症共同研究拠点	
拠点長	喜田 宏
高度安全実験（BSL-4）施設設置準備室長	安田 二郎
総務部門担当課長	亀田 恒治

監査室	
室長	汐除 時也

事務局	
事務局長	横町 直明
総務部長	大谷 智
総務企画課長	志茂 弘明
企画室長	池野 和樹
人事課長	伊藤 正則
研究国際部長	高比良 治
学術推進課長	高柳 忠和
国際企画課長	成瀬 雅也
財務部長	能住 勝徳
財務企画課長	樋口 幸一
財務管理課長	一橋 透
調達課長	土橋 一徳
学生支援部長	柘植喜代志
教育支援課長	品川 幸夫

学生支援課長	田中 宏智
入試課長	堀 和也
留学支援課長	葛島 浩司
施設部長	長野 繁美
施設企画課長	篠原 憲二
施設整備課長	安藤 豊幸
施設管理課長	藤井 淳志
学術情報部長	森山 美香
情報企画課長	平田 浩二
学術情報管理課長	上野 宏

## 学部等

### 文教地区事務局

文教地区事務部長	満本 眞一
総務課長	富田 高廣
会計課長	浜崎 英彦
学務課長	清川 聖一

### 多文化社会学部

多文化社会学部長	葉柳 和則
----------	-------

### 教育学部

教育学部長	松元 浩一
附属幼稚園長	林 寛
附属小学校長	千布 本広
附属中学校長	岡野 利男
附属特別支援学校長	田中 昭二

### 経済学部

経済学部長	深浦 厚之
経済学部支援課長	池田 敏暢

### 医学部

医学部長	永安 武
------	------

### 歯学部

歯学部長	村田比呂司
------	-------

### 薬学部

薬学部長	尾野村 治
------	-------

### 工学部

工学部長	松田 浩
------	------

### 環境科学部

環境科学部長	山下樹三裕
--------	-------

### 水産学部

水産学部長	橘 勝康
附属練習船長崎丸船長	森井 康宏
附属練習船鶴洋丸船長	青島 隆

## 大学院

多文化社会学研究科長	首藤 明和
教育学研究科長	松元 浩一
経済学研究科長	深浦 厚之
工学研究科長	松田 浩
水産・環境科学総合研究科長	萩原 篤志
医歯薬学総合研究科長	川上 純
事務部長	千北 茂
総務課長	深堀 久幸
学術・管理課長	松尾 正則

学務課長	近藤 廣任
歯学系事務室長	松尾 孝文
薬学系事務室長	吉田 恭二
附属先進予防医学研究センター長	川上 純
附属薬用植物園長	尾野村 治
熱帯医学・グローバルヘルス研究科長	北 潔
熱帯医学研究支援課長	松尾 眞

## 附置研究所

熱帯医学研究所長	森田 公一
附属アジア・アフリカ感染症研究施設長	森田 公一
附属熱帯医学ミュージアム館長	奥村 順子
原爆後障害医療研究所長	宮崎 泰司
附属放射線・環境健康影響共同研究推進センター長	宮崎 泰司

## 病院

病院長	中尾 一彦
副病院長	
総務	尾崎 誠
安全	松尾 孝之
診療	酒井 英樹
経営	西野 友哉
人事	迎 寛
歯科統括	澤瀬 隆
看護統括	貞方三枝子
事務統括	熊谷 圭司

## 附属図書館

附属図書館長	増崎 英明
医学分館長	原 哲也
経済学部分館長	赤石 孝次

## 保健・医療推進センター

センター長	調 漸
-------	-----

## 学内共同教育研究施設

先導生命科学研究支援センター長	吉浦孝一郎
ICT 基盤センター長	小林 透
大学教育イノベーションセンター長	塚元 和弘
言語教育研究センター長	西原 俊明
核兵器廃絶研究センター長	吉田 文彦
留学生教育・支援センター長	塚元 和弘
環境保全センター長	原田 哲夫

## 人文社会科学域

学域長	下川 功
-----	------

## 総合生産科学域

学域長	森口 勇
-----	------

## 生命医科学域

学域長	西田 教行
-----	-------

## 九州地区国立大学島原共同研修センター

所長	赤石 孝次
----	-------

役員・職員数

2019.5.1

(人)

部局	区分	役員・職員											小計	その他の職員	合計			
		学長	理事	監事	執行役員	副学長	学長特別補佐	学長補佐	教授	准教授	講師	助教				助手	教諭	
広報戦略本部									1							1	7	8
原子力災害対策戦略本部									1							1	2	3
インスティテューショナル・リサーチ推進本部																0	1	1
海洋未来イノベーション機構									4	2		2				8	1	9
グローバル連携機構									2	1		2				5	1	6
研究開発推進機構									1	4		2				7	9	16
タイバーシティ推進センター																0	1	1
地域教育総合支援センター									1	2						3		3
障がい学生支援室												1				1	2	3
地方創生推進本部									1							1	3	4
感染症共同研究拠点									4	1		3				8	10	18
事務局		1	6	(1)	1	[3]	[14]	[3]	[5]							(1)[25] 8	301	(1)[25] 309
人文社会科学域									57	84	2	13				156		156
総合生産科学域									73	85		30	1			189		189
生命医科学域									88	80	19	131				318		318
多文化社会学部																0	1	1
教育学部																0	1	1
附属幼稚園															7	7		7
附属小学校															30	30		30
附属中学校															25	25		25
附属特別支援学校															28	28		28
経済学部															0	15		15
医学部															0	1		1
水産学部															0			0
附属練習船長崎丸									1	1		2			4	17		21
附属練習船鶴洋丸										2		1			3	12		15
工学研究科															0	40		40
医歯薬学総合研究科															0	72		72
熱帯医学・グローバルヘルス研究科									6	3		6			15	3		18
熱帯医学研究所									13	8	1	29			51	16		67
附属アジア・アフリカ感染症研究施設									1			1			2			2
附属熱帯医学ミュージアム									1						1	1		2
原爆後障害医療研究所									11	4	1	19			35	3		38
附属放射線・環境健康影響共同研究推進センター									1	1		3			5	1		6
病院									11	19	58	198			286	1,407		1,693
附属図書館									1						1			1
情報系新学部創設準備室									1			1			2			2
保健・医療推進センター									1	3		3			7	10		17
先端生命科学研究所支援センター									1	1		2			4	5		9
ICT基盤センター									1	4					5			5
大学教育イノベーションセンター									3	1		3			7			7
言語教育研究センター									7	3	1	8			19			19
核兵器廃絶研究センター									3	1					4			4
留学生教育・支援センター											4				4			4
環境保全センター															0	1		1
総計		1	6	(1)	1	[3]	[14]	[3]	[5]	296	314	82	460	1	90	(1)[25] 1,251	1,944	(1)[25] 3,195

※1 監事(1)は、非常勤役員で外数。執行役員[3]、副学長[14]、学長特別補佐[3]及び学長補佐[5]は教育職員または理事の兼務で内数。  
 ※2 機構図の並び順に記載。



# 教育研究等

学 部		
学 部	学科・課程	講 座
多文化社会学部 1 学科 5 コース	多文化社会学科	国際公共政策 社会動態 共生文化 言語コミュニケーション オランダ特別
教育学部 1 課程 6 講座	学校教育教員養成課程	国際文化 数理情報 芸術表現 生活健康 人間発達 初等教育
経済学部 1 学科 5 コース	総合経済学科	経済と政策 グローバル経済 ファイナンス 経営と会計 総合経済（夜間主）
医学部 2 学科 6 学科目	医学科	基礎医学 社会医学 臨床医学
	保健学科	看護学 理学療法学 作業療法学
歯学部 1 学科	歯学科	
薬学部 2 学科	薬学科	
	薬科学科	
工学部 1 学科 6 コース	工学科	機械工学 電気電子工学 情報工学 構造工学 社会環境デザイン工学 化学・物質工学
環境科学部 1 学科 2 学系	環境科学科	人間社会環境 環境保全設計
水産学部 1 学科 4 講座	水産学科	海洋生産システム学 海洋資源動態科学 海洋生物機能科学 海洋物質科学

大 学 院		
研究科	課 程	専 攻
多文化社会学研究科	修士課程	多文化社会学専攻
教育学研究科	専門職学位課程	教職実践専攻
経済学研究科	博士前期課程	経済経営政策専攻
	博士後期課程	経営意思決定専攻

研究科	課程	専攻
工学研究科	博士前期課程	総合工学専攻
	博士後期課程	生産システム工学専攻
	博士課程 (5年一貫制)	グリーンシステム創成科学専攻
水産・環境科学 総合研究科	博士課程 (前期)	水産学専攻 環境科学専攻
	博士課程 (後期)	環境海洋資源学専攻
	博士課程 (5年一貫制)	海洋フィールド生命科学専攻
医歯薬学 総合研究科	修士課程	保健学専攻 災害・被ばく医療科学共同専攻
	博士課程	医療科学専攻 新興感染症病態制御学系専攻 放射線医療科学専攻 先進予防医学共同専攻
	博士課程 (前期・後期)	生命薬科学専攻
熱帯医学・グローバル ヘルス研究科	博士前期課程	グローバルヘルス専攻
	博士後期課程	グローバルヘルス専攻 長崎大学ーロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻

## 学年暦

4月	1日(月) 学年始	11月	2日(土)～3日(日・祝) 学園祭
	2日(火) 入学式	12月	12月24日(火)～1月5日(日) 冬季休業
5月	31日(金) 開学記念日 ※授業実施	1月	
6月		2月	
7月			3月21日(土)～4月1日(水) 春季休業
8月	8月11日(日・祝)～9月29日(日) 夏季休業	3月	25日(水) 卒業式
9月	30日(月) 後期授業開始		31日(火) 学年終
10月			



# 附属施設等

## 附置研究所 熱帯医学研究所

研究部門および研究分野	総合目標
病原体解析部門 ウイルス学, 新興感染症学, 細菌学, 原虫学, 寄生虫学, 分子疫学 宿主病態解析部門 免疫遺伝学, 感染生化学, 病理学, エイズ・感染防御 環境医学部門 生態疫学, 国際保健学, 国際健康開発政策学, 病害動物学 臨床研究部門 臨床感染症学, 小児感染症学, 臨床開発学 シオノギグローバル感染症連携部門 細胞環境構築学, 分子感染ダイナミクス解析, 免疫病態制御学, 創薬探索研究 アジア・アフリカ感染症研究施設 熱帯医学ミュージアム	1. 熱帯医学及び国際保健における先導的研究 2. 研究成果の応用による熱帯病の防圧ならびに健康増進への国際貢献 3. 上記に係る研究者と専門家の育成

## 附置研究所 原爆後障害医療研究所

研究部門（研究分野）	目的
放射線リスク制御部門 放射線分子疫学, 国際保健医療福祉学, 放射線災害医療学, 放射線生物・防護学, 健康リスク学	放射線健康リスク評価とリスクコミュニケーション
細胞機能解析部門 幹細胞生物学, 分子医学	細胞機能の側面からの放射線人体影響の基礎研究
原爆・ヒバクシャ医療部門 血液内科学, 腫瘍・診断病理学, アイントープ診断治療学	被爆者医療
ゲノム機能解析部門 人類遺伝学, ゲノム修復学	遺伝子の側面からの放射線人体影響の基礎研究
附属放射線・環境健康影響共同研究推進センター 共同研究推進部 資料収集保存・解析部 資料調査室 生体材料保存室	放射線に関する共同研究の推進

## 附属図書館

蔵書数

2019.4.1

館名	図書数			雑誌の種類		
	和漢書	洋書	計	和文	欧文	計
中央図書館	452,767	140,320	593,087	11,392	3,416	14,808
医学分館	82,945	73,025	155,970	3,899	3,211	7,110
経済学部分館	192,650	83,624	276,274	3,788	1,146	4,934
計	728,362	296,969	1,025,331	※19,079	※7,773	※26,852

※雑誌の種類は3館合計の重複数を除いた数を計上

## 利用状況（平成30年度）

館名	区分	教職員	学生	その他	計
中央図書館	入館者数	8,961	384,866	11,674	405,501
	貸出冊数	5,642	47,864	2,432	55,938
医学分館	入館者数	7,293	141,954	2,224	151,471
	貸出冊数	2,493	9,952	341	12,786
経済学部分館	入館者数	4,455	44,709	2,796	51,960
	貸出冊数	2,281	8,566	287	11,134
計	入館者数	20,709	571,529	16,694	608,932
	貸出冊数	10,416	66,382	3,060	79,858

# 病 院

## ■診療データ（2018年度）

病床稼働率（%）	87.10			
平均在院日数（日）	13.09			
新入院患者数（人）	19,469			
初診の患者数（人）	24,606			
患者数（人）	入院	全体	入院延患者数 一日平均	274,272 751
		医科	入院延患者数 一日平均	268,219 735
	歯科	入院延患者数 一日平均	6,053 17	
	外来	全体	外来延患者数 一日平均	430,578 1,765
		医科	外来延患者数 一日平均	328,166 1,345
		歯科	外来延患者数 一日平均	102,412 420
手術件数（件）	12,704			
麻酔件数〈全身麻酔〉（件）	6,602			
救急外来患者数（人）	5,353			
ヘリコプターによる患者搬送数（件）	130			
分娩件数（件）	333			
臓器移植手術件数（件）	ドナー（脳死による提供）			1
	レシピエント	肺	脳死	0
			生体	0
		肝	脳死	0
			生体	19
腎	脳死	1		
	献腎（心停止下） 生体	0 3		
脾	脳死	1		
生体	0			

新入院患者数と平均在院日数



患者数（入院・外来）



## ■病床数（2019年4月1日現在）

(床)	
一般病室	821
精神病床	42
結核病床	6
感染症病床	2
計	871

教育学部附属学校・園

2019.5.1 (人)

区 分	学級区分	学 年		学 級 数	学級定員	総 定 員	現 員	
附属幼稚園	3 歳児	三年保育		1	20	20	24	
		二年保育		2	40		60	26
	4 歳児	三年保育			2	20		60
		二年保育		40		36		
	5 歳児	二年保育		2	40	60	36	
		三年保育			20		22	
計				5		140	131	
附属小学校	普通学級	1		3	30	90	90	
		2		3	30	90	88	
		3		3	30	90	88	
		4		3	30	90	85	
		5		3	30	90	86	
		6		3	30	90	84	
	複式学級	1		1	16	16	8	
		2		1	16	16	8	
		3		1	16	16	7	
		4		1	16	16	8	
		5		1	16	16	8	
		6		1	16	16	8	
計				21		588	568	
附属中学校	普通学級	1		4	35	140	144	
		2		4	35	140	143	
		3		4	35	140	143	
	計				12		420	430
附属 特別支援 学 校	普通学級 (2 学年複式)	小学部	1		1	6	18	3
			2		1	6		3
			3		1	6		3
			4		1	6		2
			5		1	6		3
			6		1	6		3
	普通学級	中学部	1		1	6	18	6
			2		1	6		6
			3		1	6		5
	普通学級	高等部	1		1	8	24	8
			2		1	8		8
			3		1	8		5
	計				9		60	55

## 学部等附属教育研究施設

<b>水産学部</b>
附属練習船長崎丸
附属練習船鶴洋丸
<b>熱帯医学研究所</b>
附属アジア・アフリカ感染症研究施設
附属熱帯医学ミュージアム

<b>医歯薬学総合研究科</b>
附属先進予防医学研究センター
附属薬用植物園
<b>原爆後障害医療研究所</b>
附属放射線・環境健康影響共同研究推進センター

## 保健・医療推進センター

2019.5.1 (人)

職 員 (数)	セ ン タ ー 長	教 授	准 教 授	助 教	保 健 師	カ ウ ン セ ラ ー	事 務 員	計	学 校 医	
									婦 人 科	歯 科
	[1]	1	3	3 [1]	3	5	2	17 [2]	1	1

備考 保健・医療推進センター（相談日）…毎日（平日のみ）  
（注）〔 〕は併任を示し外数

## 学内共同教育研究施設等

<b>海洋未来イノベーション機構</b>
環東シナ海環境資源研究センター
<b>先導生命科学支援センター</b>
アイソトープ実験施設
動物実験施設
遺伝子実験施設
<b>ICT基盤センター</b>
大学教育イノベーションセンター
言語教育研究センター
核兵器廃絶研究センター

留学生教育・支援センター
環境保全センター
学務情報推進室
やってみゅーでスク（ボランティア活動支援）
ダイバーシティ推進センター
先端創薬イノベーションセンター
地域教育総合支援センター
障がい学生支援室
福島未来創造支援研究センター
子どもの心の医療・教育センター

## 長崎大学教育研究プロジェクト拠点

名 称	所 在 地	設 置 目 的
長崎大学アフリカ海外教育研究拠点	ケニア共和国ナイロビ市	アフリカにおける教育・研究戦略の策定並びに国際共同研究及び教育活動の支援
長崎大学東南アジア海外教育研究拠点	ベトナム社会主義共和国ハノイ市	東南アジアにおける教育・研究戦略の策定並びに国際共同研究及び教育活動の支援
ケニアプロジェクト拠点	ケニア共和国ナイロビ市（ケニア中央医学研究所内）	熱帯病・新興感染症研究プロジェクトの推進
ベトナムプロジェクト拠点 ニャチャン分室	ベトナム社会主義共和国ハノイ市（国立衛生疫学研究所内） ベトナム社会主義共和国ニャチャン市（カンファ県衛生局内）	
チェルノブイリプロジェクト拠点	ベラルーシ共和国ミンスク市（ベラルーシ卒業後教育医学アカデミー内）	放射線健康リスク制御国際戦略拠点プログラムの推進
五島離島・へき地医療プロジェクト拠点	長崎県五島市（長崎県五島中央病院内）	寄附講座（離島・へき地医療学講座）の設置に関する協定書に基づく事業の推進
地域包括ケア教育研究拠点	長崎県長崎市（長崎みなとメディカルセンター内）	老年医学及び地域包括ケアシステムに係る教育研究活動の推進
先進予防医学教育研究拠点	長崎県五島市（福江総合福祉保健センター内）	先進予防医学に係るコホート研究及び教育活動の推進
長崎大学・川内村復興推進拠点	福島県双葉郡川内村（川内村役場内）	福島県川内村との包括連携に関する協定書に基づく連携事項の推進
長崎大学・富岡町復興推進拠点	福島県双葉郡富岡町（富岡町健康づくり課内）	福島県富岡町との包括連携に関する協定書に基づく連携事項の推進
平戸臨床教育プロジェクト拠点	長崎県平戸市（国民健康保険平戸市民病院内）	大学発病院再生による地域医療人育成事業の推進
外来医療教育拠点	長崎県長崎市（済生会長崎病院内及び長崎記念病院内） 長崎県南松浦郡新上五島町（長崎県上五島病院内） 長崎県島原市（長崎県島原病院内）	長崎県における医療人の育成及び定着の推進
長崎医療人育成拠点	長崎県長崎市（長崎記念病院内及び済生会長崎病院内、長崎みなとメディカルセンター内） 長崎県佐世保市（北松中央病院内）	地域中核病院の医師不足及び看護師不足の解消並びに人材育成事業の推進
遠隔病理育成拠点	千葉県鴨川市（亀田総合病院内）	ICTを用いた病理学従事者及び学生の教育並びにその効果的な体制に関する研究の推進

## 国際交流推進室

名 称	所 在 地	設 置 目 的
長崎大学在ライデン国際交流推進室	オランダ王国ライデン市（シーボルトハウス財団内）	オランダにおける長崎大学の教育・研究及び文化交流の推進
長崎大学－済州大学校交流推進室	大韓民国済州市（済州大学校内）	済州大学校との共同研究及び学生交流の推進
長崎大学－上海海洋大学交流推進室	中華人民共和国上海市（上海海洋大学内）	上海海洋大学との共同研究及び学生交流の推進
長崎大学－国立台湾海洋大学交流推進室	台湾基隆市（国立台湾海洋大学内）	国立台湾海洋大学との共同研究及び学生交流の推進
長崎大学－カントー大学交流推進室	ベトナム社会主義共和国カントー市（カントー大学内）	カントー大学との共同研究及び学生交流の推進
長崎大学－フランス原子力防護評価研究所交流推進室	フランス共和国フォントネー＝オー＝ローズ市（フランス原子力防護評価研究所内）	フランス原子力防護評価研究所との共同研究の推進



## 特色ある教育・研究

### 特色ある教育

#### 課題解決型高度医療人材養成プログラム

取組名称	取組部局	取組期間
放射線健康リスク科学人材養成プログラム (長崎大学〈代表校〉, 広島大学ほか1大学〈連携校〉)	医学部	平成28～ 令和2年度

#### 多様な新ニーズに対する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン

取組名称	取組部局	取組期間
新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン (九州大学〈代表校〉, 長崎大学ほか8大学〈連携校〉)	医歯薬学総合研究科	平成29～ 令和3年度

#### 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)

取組名称	取組部局	取組期間
若者が輝く、若者で輝く長崎創生～地方創生人材学士プログラム～ (長崎大学〈代表校〉, 長崎県立大学ほか3大学〈参加校〉)	大学全体	平成27～ 令和元年度

#### 大学の世界展開力強化事業

取組名称	取組部局	取組期間
日中韓の大学間連携によるインフラストラクチャーを支える人材育成事業	工学研究科	平成28～ 令和2年度
日露の大学間連携による災害・被ばく医療科学分野におけるリーダー育成事業 (長崎大学〈代表校〉, 福島県立医科大学〈連携校〉)	医歯薬学総合研究科, 熱帯医学・グローバルヘルス研究科, 原爆後障害医療研究所, グローバル連携機構	平成29～ 令和3年度

#### 卓越大学院プログラム

取組名称	取組部局	取組期間
世界を動かすグローバルヘルス人材育成プログラム	熱帯医学・グローバルヘルス研究科, 多文化社会学研究科, 工学研究科, 水産・環境科学総合研究科, 医歯薬学総合研究科	平成30～ 令和6年度

## 特色ある研究

### ■ 第三期中期目標・中期計画における重点研究課題

採択年度	研究課題名	代表者名(部局)
平成28～令和3年度	次世代エネルギー関連技術に向けた革新的物質科学研究拠点	森口 勇 (工学研究科)
	近未来の海洋環境変動に対するトラフグを基軸とした海洋生態系機能の把握と活用	山口 敦子 (水産・環境科学総合研究科)
	個別がん医療のトランスレーショナル・リサーチ実践を目指した基盤構築	池田 裕明 (生命医科学域)
平成29～令和3年度	自己筋芽細胞シートを用いた消化器再生医療と腹腔鏡デリバリーデバイスの開発	江口 晋 (生命医科学域)
	感染症・放射線障害を中心とするアカデミア創薬の基盤構築と推進	武田 弘資 (生命医科学域)
	「リスク社会」を生き続けるための人文社会科学の超域的 研究拠点形成	滝澤 克彦 (多文化社会学部)
	地域の水循環社会創成を目指した文理融合型研究	中川 啓 (水産・環境科学総合研究科)

### ■ 文部科学省科学技術人材育成費補助金

採択年度	プログラム名
平成27～令和2年度	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)
平成28～令和3年度	卓越研究員事業



# 学生数等

## 学生数

学 部

2019.5.1 (人)

学 部	学 科 ・ 課 程	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	現 員						計	
					1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次		
多文化 社会学部	多文化社会学科	100	—	400	106	108	107	114	—	—	435	
教育学部	学校教育教員養成課程	240	—	960	242	241	242	258	—	—	983	
経 済 学 部	総 合 経済学科	昼間コース	265	—	1,060	276	275	284	331	—	—	1,166
		夜間コース	60	—	240	64	57	72	97	—	—	290
		—	15	30	—	—	—	—	—	—	—	
	計	325	15	1,330	340	332	356	428	—	—	1,456	
医 学 部	医 学 科	120	5	735	122	135	131	128	118	137	771	
	保 健 学 科	106	10	444	108	107	106	112	—	—	433	
	計	226	15	1,179	230	242	237	240	118	137	1,204	
歯学部	歯 学 科	50	—	300	50	54	56	49	51	49	309	
薬学部	薬 学 科	40	—	240	40	43	40	40	40	49	252	
	薬 科 学 科	40	—	160	42	43	40	45	—	—	170	
	計	80	—	400	82	86	80	85	40	49	422	
工 学 部	工 学 科	380	—	1,520	395	416	375	463	—	—	1,649	
	電 気 電 子 工 学 科	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	
	計	380	—	1,520	395	416	375	464	—	—	1,650	
環境科学部	環 境 科 学 科	130	5	530	131	139	137	162	—	—	569	
水産学部	水 産 学 科	110	—	440	113	118	111	134	—	—	476	
合 計		1,641	35	7,059	1,689	1,736	1,701	1,934	209	235	7,504	

大学院

2019. 5. 1 (人)

研究科	定員・現員		修士・博士前期課程					博士・博士後期課程						
	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	計
多文化社会学研究科	10	20	10	11	—	21	—	—	—	—	—	—	—	—
経済学研究科	15	30	16	19	—	35	3	9	3	3	7	—	—	13
工学研究科	220	440	222	235	—	457	20	70	12	18	24	6	4	64
水産・環境科学総合研究科	60	120	69	49	—	118	17	61	12	6	27	2	6	53
医歯薬学総合研究科	66	132	62	65	—	127	105	410	96	105	104	250	—	555
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	37	62	38	29	—	67	10	20	11	—	—	—	—	11
計	408	804	417	408	—	825	155	570	134	132	162	258	10	696

研究科	定員・現員		専門職学位課程				
	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計	
教育学研究科	28	56	32	14	5	51	
計	28	56	32	14	5	51	

研究生・科目等履修生等 (延べ人数)

2019. 5. 1 (人)

学部等	区分	研 究 生	科目等履修生	特別聴講学生	特別研究学生
多文化社会学部		8		34	
教育学部・教育学研究科		2	3	27	2
経済学部・経済学研究科		4	4	14	3
医学部				9	
歯学部			1		
薬学部				1	
工学部		9		7	
環境科学部		3	1	1	
水産学部		1		3	
工学研究科					7
医歯薬学総合研究科		1			3
水産・環境科学総合研究科		3			2
多文化社会学研究科		1			
熱帯医学・グローバルヘルス研究科		1			
大学教育イノベーションセンター					
留学生教育・支援センター		1		49	
計		34	9	145	17

## 平成31年度入学者状況

学 部

2019.5.1 (人)

学 部	区 分	入 学 定 員	入 学 志 願 者	入 学 者
多文化社会学部		100	335 ※4	104 ※2
教育学部		240	762 ※2	242
経済学部	昼間コース	265	735 ※25	269 ※7
	夜間主コース	60	132	64
医学部		226	1,023	226
歯学部		50	339	50
薬学部		80	460 ※3	82
工学部		380	991 ※48	391 ※4
環境科学部		122 ※8	441 ※20	125 ※6
水産学部		110	468 ※6	112 ※1
計		1,633 ※8	5,686 ※108	1,665 ※20

※は外国人留学生で外数

出身高校による入学者（外国人留学生を除く）の地域別区分

2019.5.1 (人)

学部	区 分	長 崎 県	九州地区 (長崎県を除く)	中国地区 四 国	近畿地区	中部地区	関東地区	東北 北海道地区	外国・ 大 検 等	計
多文化社会学部		13	54	12	5	10	6	4	0	104
教育学部		146	83	9	0	0	3	1	0	242
経済学部		115	178	13	19	3	4	1	0	333
医学部		89	86	12	14	5	19	0	1	226
歯学部		16	17	5	4	1	6	1	0	50
薬学部		24	38	10	2	0	8	0	0	82
工学部		160	196	17	8	3	5	0	2	391
環境科学部		51	51	9	5	3	6	0	0	125
水産学部		19	24	16	22	12	14	4	1	112
計		633	727	103	79	37	71	11	4	1,665

大 学 院

2019.5.1 (人)

研究科	区 分	入 学 定 員	春 季 入 学 志 願 者	春 季 入 学 者 (平成31年4月)	(※参考) 秋 季 入 学 者 (平成30年10月)
多文化社会学研究科	修 士	10	10 ※13	4 ※6	—
教育学研究科	専 門 職 学 位	28	41	32	—
経済学研究科	博 士 前 期	15	7 ※13	6 ※10	—
	博 士 後 期	3	4 ※0	3 ※0	—
工学研究科	博 士 前 期	220	230 ※18	207 ※13	0 ※2
	博 士 後 期	15	3 ※6	3 ※5	1 ※2
	博 士 (5 年 一 貫 制)	5	1 ※0	1 ※0	—
水産・環境科学総合研究科	博 士 前 期	60	65 ※4	60 ※3	0 ※6
	博 士 後 期	12	6 ※5	1 ※5	1 ※3
	博 士 (5 年 一 貫 制)	5	0 ※0	0 ※0	0 ※2
医歯薬学総合研究科	修 士	30	40 ※0	29 ※0	0 ※6
	博 士	95	80 ※9	74 ※9	4 ※6
	博 士 前 期	36	29 ※1	25 ※1	0 ※1
	博 士 後 期	10	3	1 ※2	0
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	博 士 前 期	37	—	—	21 ※17
	博 士 後 期	10	—	—	5 ※6
計		591	519 ※69	446 ※54	32 ※51

※は外国人留学生で外数

## 平成30年度卒業生(修了者)及び進路状況

### 学部卒業生

(人)

学 部	平成30年度	累 計
多文化社会学部	72	132
教 育 学 部	236	18,326
経済学部	昼間コース	274
	夜間主コース	53
医 学 部	227	8,192
歯 学 部	51	1,997
薬 学 部	80	4,672
工 学 部	365	16,231
環 境 科 学 部	131	2,581
水 産 学 部	116	6,205
合 計	1,605	76,512

### 大学院修了者

2019. 3. 31 (人)

大 学 院	平成30年度	累 計
教 育 学 研 究 科	24	813
経 済 学 研 究 科	19	308
工 学 研 究 科	224	1,530
水産・環境科学総合研究科	65	420
医 歯 薬 学 総 合 研 究 科	150	2,226
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	28	61
医 学 研 究 科		1,294
歯 学 研 究 科		149
薬 学 研 究 科		924
工 学 研 究 科		1,758
環 境 科 学 研 究 科		46
水 産 学 研 究 科		616
海 洋 生 産 科 学 研 究 科		245
生 産 科 学 研 究 科		2,881
国 際 健 康 開 発 研 究 科		72
合 計	510	13,343

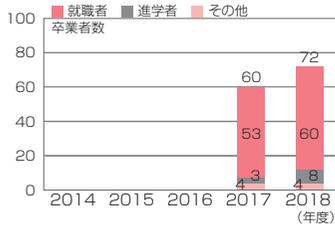
### 進路状況

2019. 5. 1 (人)

進路		学部								合 計
		教化社会学部	教育学部	経済学部	医学部保健科	薬学部	工学部	環境科学部	水産学部	
卒 業 者	卒 業 者 数	72	236	274	100	80	365	131	116	1,374
	就 職 希 望 者 数	61	212	253	84	48	141	93	64	956
	就 職 者 数	60	203	247	82	46	141	91	64	934
	就 職 率 (%)	98.4	95.8	97.6	97.6	95.8	100.0	97.8	100.0	97.7
	農 林 漁 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	建 設 業	0	0	11	0	0	17	3	1	32
	製 造 業	15	0	31	0	4	43	7	21	121
	電 気・ガ 斯・熱供給・水道業	1	0	3	0	0	0	3	0	7
	情 報 通 信、運 輸 業、郵 便 業	17	2	39	0	0	24	13	4	99
	卸 売 業・小 売 業	9	3	26	0	19	4	9	13	83
	金 融 業・保 険 業	3	2	39	0	0	1	9	2	56
	不 動 産 業・物 品 賃 貸 業	1	0	6	0	0	1	2	1	11
	学 術 研 究、専 門・技 術 サ ー ビ ス	0	0	9	0	3	7	10	6	35
	宿 泊 業、飲 食 サ ー ビ ス 業	1	1	4	0	0	0	1	5	12
生 活 関 連 サ ー ビ ス 業、娯 楽 業	1	1	2	0	0	0	4	1	9	
職	教 育、学 習 支 援 業	1	151	7	0	0	1	2	4	166
	医 療、福 祉	0	22	1	76	14	0	1	0	114
	複 合 サ ー ビ ス 事 業	0	0	6	0	0	1	1	2	10
	サ ー ビ ス (他 に 分 類 さ れ な い)	6	9	17	0	1	11	5	1	50
	公 務	5	12	45	6	5	31	21	3	128
	分 類 不 能	0	0	1	0	0	0	0	0	1
進 学 者 数	8	18	0	13	32	217	30	46	364	
そ の 他	4	15	27	5	2	7	10	6	76	

## 過去5年間の進路状況の推移

### 多文化社会学部



### 教育学部



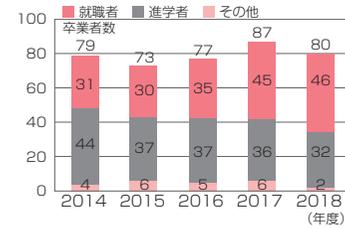
### 経済学部



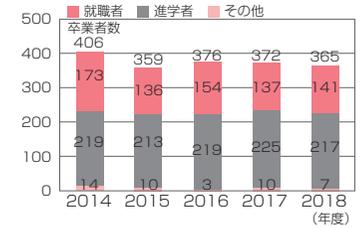
### 医学部保健学科



### 薬学部



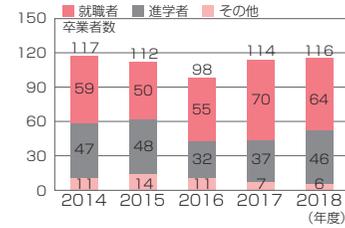
### 工学部



### 環境科学部



### 水産学部



## 学位授与数

2019. 3. 31 (人)

博士の種類	課程修了		論文		旧制授与数
	平成30年度	累計	平成30年度	累計	
学術	7	210	1	30	
経営学	4	26			
医学	62	2,126	2	1,840	1,347
歯学	12	320	1	99	
薬学	7	176		37	
薬科学	10	32			
臨床薬学		13			
工学	15	364	3	57	
水産学	1	84		18	
環境科学	4	33	1	5	
海洋科学	1	6			
合計	123	3,390	8	2,086	1,347

(人)

修士の種類	平成30年度	累計
学術	4	76
教育学		584
経済学	8	143
経営学	7	139
熱帯医学	6	122
看護学	14	109
理学療法	5	70
作業療法	3	41
薬学		1,096
薬科学	32	280
臨床薬学		209
工学	211	5,212
水産学	26	1,150
環境科学	22	374
公衆衛生学	14	102
医科学	13	24
海洋科学		1
合計	365	9,732

修士の種類	平成30年度	累計
教職修士 (専門職)	24	229



# 国際交流

## 令和元年度外国人留学生

部局別内訳

2019.5.1 (人)

学部等	区分				学部等	区分			
	学部学生	大学院生	研究生等	計		学部学生	大学院生	研究生等	計
多文化社会学部	2		42	44	多文化社会学研究科		11 (1)	1 (1)	12 (2)
教育学部	1		28 (1)	29 (1)	教育学研究科			3	3
経済学部	24		22	46	経済学研究科		14 (1)	3	17 (1)
医学部			5	5	工学研究科		63 (3)	7	70 (3)
歯学部			1	1	水産・環境科学総合研究科		54(11)	2	56(11)
薬学部	1 (1)		1	2 (1)	医歯薬学総合研究科		83(18)	2	85(18)
工学部	41		14 (1)	55 (1)	薬理学・グローバルヘルス研究科		38 (5)	1 (1)	39 (6)
環境科学部	21		4	25	留学生教育・支援センター			53 (4)	53 (4)
水産学部	3		4	7	計	93 (1)	263(39)	193 (8)	549(48)

( ) は国費留学生を内数で示す。

国・地域別内訳

(人)

国・地域名	区分				国・地域名	区分			
	学部学生	大学院生	研究生等	計		学部学生	大学院生	研究生等	計
アルジェリア			1 (1)	1 (1)	ネパール連邦民主共和国		2		2 (0)
アンゴラ共和国			1 (1)	1 (1)	オランダ			16 (1)	16 (1)
バーレーン王国			1 (1)	1 (1)	ナイジェリア連邦共和国		4 (1)		4 (1)
バングラデシュ人民共和国		8 (4)	1	9 (4)	バブアニューギニア		1 (1)		1 (1)
ベルギー王国			2	2 (0)	パラグアイ共和国		1		1 (0)
ベナン		1		1 (0)	ペルー共和国		1 (1)		1 (1)
ブルネイ・ダルサラーム国		1	1	2 (0)	フィリピン共和国		5 (5)	1 (1)	6 (6)
ブルンジ共和国			1	1 (0)	ポルトガル共和国			1	1 (0)
カンボジア王国		3		3 (0)	大韓民国	32	9	27	68 (0)
カメルーン共和国		1		1 (0)	ルワンダ共和国		1		1 (0)
カナダ			1	1 (0)	セネガル		1		1 (0)
中華人民共和国	53	89	95	237 (0)	南アフリカ		1		1 (0)
コンゴ民主共和国		12 (2)		12 (2)	南スーダン		1		1 (0)
エジプト・アラブ共和国		4 (2)	1 (1)	5 (3)	スペイン		1		1 (0)
エチオピア連邦民主共和国		2 (1)		2 (1)	スリランカ		1		1 (0)
ドイツ連邦共和国			3	3 (0)	スーダン共和国		1		1 (0)
ガーナ共和国		7		7 (0)	シリア		1 (1)		1 (1)
インド		1		1 (0)	台湾	1	8	26	35 (0)
インドネシア共和国		1 (1)		1 (1)	タンザニア連邦共和国		2 (1)		2 (1)
イラン・イスラム共和国		4 (1)		4 (1)	タイ王国		11	2	13 (0)
イタリア共和国			6	6 (0)	ガンビア共和国		1		1 (0)
ガザフスタン共和国		7		7 (0)	トルコ共和国		1		1 (0)
ケニア共和国		9 (2)		9 (2)	ウクライナ		1 (1)		1 (1)
ラオス		7 (1)		7 (1)	イギリス			5	5 (0)
レソト王国		1		1 (0)	ベトナム社会主義共和国		29 (8)	1 (1)	30 (9)
マレーシア	6		1 (1)	7 (1)	ザンビア共和国		3		3 (0)
モンゴル国	1 (1)	2		3 (1)	ジンバブエ		1		1 (0)
ミャンマー連邦共和国		14 (6)		14 (6)	計	93 (1)	263 (39)	193 (8)	549 (48)

( ) は国費留学生を内数で示す。国名はアルファベット順。

## 海外の大学等との学術交流協定締結状況

2019. 5. 1

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年月日
1	中華人民共和国	福建省疾病预防控制中心	医歯薬学総合研究科	1989年8月23日
2		復旦大学	医歯薬学総合研究科	1989年10月4日
3		福州大学	工学研究科	1992年3月4日
4		中国海洋大学	水産・環境科学総合研究科	1997年1月20日
5		中国薬科大学	医歯薬学総合研究科	1998年10月30日
6		福建医科大学	医歯薬学総合研究科	2001年8月6日
7		同济大学	工学研究科	2001年11月12日
8		大連海洋大学	水産・環境科学総合研究科	2003年1月17日
9		第四軍医大学	医歯薬学総合研究科	2003年3月26日
10		香港浸會大学	薬学部	2004年7月9日
11		北京師範大学	教育学部	2004年12月27日
12		北京教育学院	教育学部	2004年12月28日
13		新疆医科大学	医歯薬学総合研究科	2005年9月26日
14		上海財経大学	経済学部	2013年12月27日
15		中南大学	医歯薬学総合研究科	2006年4月18日
16		東北師範大学	教育学部	2007年3月22日
17		上海海洋大学	水産・環境科学総合研究科	2007年5月18日
18		上海師範大学	教育学部	2007年6月27日
19		華東師範大学	多文化社会学部	2007年7月2日
20		集美大学	水産・環境科学総合研究科	2007年8月9日
21		天津科技大学	留学生教育・支援センター	2007年12月10日
22		吉林大学	多文化社会学部	2008年1月8日
23		江蘇省血吸虫病防治研究所	熱帯医学研究所	2010年9月20日
24		中国医科大学	熱帯医学研究所	2010年9月21日
25		山東大学	工学研究科	2010年11月1日
26		山東科技大学	工学研究科	2010年11月1日
27		浙江海洋大学	水産・環境科学総合研究科	2011年7月28日
28		西南財経大学	経済学部	2012年3月1日
29		広州医学院	医歯薬学総合研究科	2013年3月11日
30		揚州大学	水産・環境科学総合研究科	2014年2月24日
31		香港教育大学	多文化社会学部	2015年11月11日
32		大連医科大学	医歯薬学総合研究科	2016年4月25日
33		南昌大学	医歯薬学総合研究科	2016年7月11日
34		上海交通大学医学院	(医学部・歯学部)	2016年9月21日
35		上海外国語大学	経済学部	2016年9月21日
36		西北大学	多文化社会学部	2017年6月4日

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年月日
37	中華人民共和国	陝西師範大学	多文化社会学部	2017年6月5日
38		華南理工大学	医歯薬学総合研究科	2018年6月25日
39		天津師範大学	多文化社会学部	2018年10月29日
40		北京外国語大学	多文化社会学部	2018年10月30日
41		大連理工大学	工学研究科	2018年12月6日
42		中国社会科学院大学	多文化社会学部	2019年3月26日
43		広東外語外貿大学	経済学部	2019年4月1日
44	台湾	国立陽明大学	医歯薬学総合研究科	2002年6月21日
45		淡江大学	水産・環境科学総合研究科	2004年11月8日
46		国立高雄科技大学	水産・環境科学総合研究科	2018年2月1日
47		国立台湾海洋大学	水産・環境科学総合研究科	2005年8月9日
48		高雄医学大学	医歯薬学総合研究科	2006年8月1日
49		国立政治大学	多文化社会学部	2009年8月4日
50		国立台湾大学	多文化社会学部	2010年11月5日
51		国立台湾師範大学	多文化社会学部	2012年2月13日
52		行政院農業委員会水産試験所	水産・環境科学総合研究科	2012年6月8日
53		台北医学大学	医歯薬学総合研究科	2013年12月2日
54		成功大学	多文化社会学部	2015年6月23日
55		国立東華大学	経済学部	2016年7月15日
56		国立高雄大学	多文化社会学部	2016年8月30日
57		台北荣民総医院	医歯薬学総合研究科	2017年4月15日
58	亞洲大学	多文化社会学部	2017年8月21日	
59	国立海洋科技博物館	水産・環境科学総合研究科	2018年3月5日	
60	国立嘉義大学	水産・環境科学総合研究科	2018年12月3日	
61	大韓民国	濟州大学校	工学研究科	1988年1月26日
62		釜慶大学校	水産・環境科学総合研究科	1988年1月13日
63		江原大学校	工学研究科	2002年4月4日
64		晋州保健大学校	医歯薬学総合研究科	2002年9月11日
65		昌原大学校	教育学部	2002年10月24日
66		全南大学校	水産・環境科学総合研究科	2002年12月20日
67		仁荷大学校	留学生教育・支援センター	2003年7月4日
68		漢陽大学校	教育学部	2003年10月10日
69		韓国海洋科学技術院	水産・環境科学総合研究科	2004年2月11日
70		慶北大学校	教育学部	2004年9月30日
71		梨花女子大学校	留学生教育・支援センター	2006年2月22日
72		成均館大学校	工学研究科	2006年3月28日
73		慶熙大学校	留学生教育・支援センター	2006年8月21日
74		ハーリム大学校	医歯薬学総合研究科	2007年5月23日

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年月日
75	大韓民国	ソウル大学校	医歯薬学総合研究科	2007年7月16日
76		国立釜山大学校	医歯薬学総合研究科	2007年9月13日
77		嶺南大学校	工学研究科	2008年2月28日
78		新羅大学校	教育学部	2008年6月17日
79		韓国教員大学校	教育学部	2010年10月25日
80		全北大学校	工学研究科	2010年11月1日
81		中央大学校	経済学部	2012年3月1日
82		韓信大学校	核兵器廃絶研究センター	2013年6月20日
83		慶尚大学校	医学部	2013年11月1日
84		釜山カトリック大学校	医歯薬学総合研究科	2014年4月1日
85		東国大学校	多文化社会学部	2014年10月7日
86		亜洲大学校	多文化社会学部	2014年12月31日
87		延世大学校（原州キャンパス）	多文化社会学部	2015年1月15日
88		建国大学校	多文化社会学部	2015年3月10日
89	韓国原子力医科学院	医歯薬学総合研究科	2017年11月7日	
90	忠南大学校	原爆後障害医療研究所	2018年3月13日	
91	モンゴル国	モンゴル国立医療科学大学	医歯薬学総合研究科	2008年6月25日
92	タイ王国	チェンマイ大学	熱帯医学研究所	1990年9月5日
93		チュロンコン大学	医歯薬学総合研究科	1999年3月26日
94		マヒドン大学	熱帯医学研究所	1999年11月1日
95		タマサート大学	熱帯医学研究所	2006年3月13日
96		タイ王国保健省医科学局	医歯薬学総合研究科	2006年3月25日
97		カセサート大学経済学部	（多文化社会学部）	2014年12月24日
98		泰日工業大学	グローバル連携機構	2018年3月26日
99	インドネシア共和国	サムラトランギ大学	水産・環境科学総合研究科	1993年4月19日
100		アイルランガ大学	熱帯医学研究所	2004年1月20日
101		ブラウィジャヤ大学	水産・環境科学総合研究科	2008年9月9日
102		ボルネオタラカン大学	水産・環境科学総合研究科	2010年7月8日
103		インドネシア大学	水産・環境科学総合研究科	2015年1月30日
104	シンガポール共和国	シンガポール国立大学	医歯薬学総合研究科	1987年6月15日
105	マレーシア	マレーシア科学大学	水産・環境科学総合研究科	1995年5月15日
106		テイラーズ大学	多文化社会学部	2015年8月19日
107		マレーシア・サバ大学	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2017年3月27日
108		マレーシアトレンガヌ大学	水産・環境科学総合研究科	2017年11月30日
109		マラヤ大学	医歯薬学総合研究科	2019年2月11日
110		マレーシア国民大学	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2019年3月27日
111	ブルネイ・ダルサラーム国	ブルネイ・ダルサラーム大学	多文化社会学部	2015年1月28日
112	フィリピン共和国	フィリピン大学ディリマン校	多文化社会学部	2001年4月10日

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年月日
113	フィリピン共和国	セントルークス医療センター	熱帯医学研究所	2004年2月17日
114		サンラザロ病院	熱帯医学研究所	2004年8月20日
115		イースト大学	医歯薬学総合研究科	2005年1月26日
116		フィリピン大学ピサヤ校	水産・環境科学総合研究科	2010年3月17日
117		フィリピン大学マニラ校	熱帯医学研究所	2014年1月20日
118		アテネオ・デ・マニラ大学	多文化社会学部	2015年7月15日
119		フィリピン大学ロスバニョス校	経済学部	2017年1月24日
120	ベトナム社会主義共和国	国立衛生疫学研究所	熱帯医学研究所	2001年6月25日
121		カントー大学	水産・環境科学総合研究科	2012年2月23日
122		バクマイ病院	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2016年3月2日
123		ベトナム国家大学ホーチミン市校工科大学	工学研究科	2018年8月27日
124	ミャンマー連邦共和国	ミャンマー国保健省医務管理局・医学研究局	医歯薬学総合研究科	2007年2月20日
125		マンダレー工科大学	工学研究科	2015年4月1日
126		ヤンゴン工科大学	工学研究科	2015年7月20日
127		パテイン大学	水産・環境科学総合研究科	2016年6月16日
128	カンボジア王国	クラチエ大学	水産・環境科学総合研究科	2019年3月22日
129	バングラデシュ人民共和国	BRAC大学	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2008年5月30日
130		イスラム大学	医歯薬学総合研究科	2015年4月16日
131	ネパール連邦民主共和国	パタン医科大学	熱帯医学研究所	2014年7月1日
132	インド	インド情報・設計・生産技術大学カンチープラム校	グローバル連携機構	2018年7月23日
133	オーストラリア連邦	エディスコーワン大学	多文化社会学部	2012年11月19日
134		サンシャインコースト大学	多文化社会学部	2014年3月10日
135		サザンクロス大学	多文化社会学部	2014年7月20日
136		ビクトリア大学	多文化社会学部	2014年8月1日
137		クイーンズランド工科大学	多文化社会学部	2014年8月25日
138		ウエスタンシドニー大学	多文化社会学部	2015年3月25日
139		ディーキン大学	水産・環境科学総合研究科	2015年4月8日
140	アメリカ合衆国	サウス・カロライナ大学	水産・環境科学総合研究科	1992年1月21日
141		ミシガン州立大学	医歯薬学総合研究科	2002年3月6日
142		ハワイ大学マノア校	水産・環境科学総合研究科	2007年6月14日
143		ハワイ大学カピオラニ・コミュニティカレッジ	(環境科学部)	2015年7月1日
144		ミネソタ州立大学マンケイト校	言語教育研究センター	2011年11月14日
145		カリフォルニア州立大学サンバーナーディーノ校	経済学部	2012年6月13日
146		モンタナ大学	医学部	2013年5月2日
147		カリフォルニア州立大学モントレイベイ校	多文化社会学部	2014年7月15日
148		ベネディクティン大学（イリノイ州）	多文化社会学部	2014年9月12日
149		ノーザン州立大学	多文化社会学部	2014年9月30日
150		ウエスタンイリノイ大学	多文化社会学部	2014年10月7日

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年月日
151	アメリカ合衆国	オターバイン大学	多文化社会学部	2014年10月14日
152		アーカンソー工科大学	多文化社会学部	2014年10月17日
153		ノーザンコロラド大学	多文化社会学部	2014年10月31日
154		ニューヨーク州立大学ジェネセオ校	多文化社会学部	2014年12月17日
155		ディキンソン州立大学（ノースダコタ州）	多文化社会学部	2015年1月31日
156		ロングウッド大学	多文化社会学部	2015年2月23日
157		ペンシルベニア州立インディアナ大学	多文化社会学部	2015年4月13日
158		ノースイースタン・イリノイ大学	多文化社会学部	2015年6月19日
159		プレスビテリアン・カレッジ	多文化社会学部	2015年6月19日
160		マーケット大学	多文化社会学部	2015年8月13日
161		フロストバーグ州立大学	多文化社会学部	2015年11月10日
162		ノースカロライナ州立大学	医歯薬学総合研究科	2016年7月14日
163		メトロポリタン州立大学	水産・環境科学総合研究科	2017年2月15日
164		デラウェア大学	言語教育研究センター	2017年9月6日
165		モラヴィアン・カレッジ	多文化社会学部	2018年5月14日
166		カリフォルニア大学バークレー校	水産・環境科学総合研究科	2018年6月18日
167		カリフォルニア大学ロサンゼルス校	医歯薬学総合研究科	2018年10月19日
168		カナダ	マニトバ大学	多文化社会学部
169	ニューファンドランドメモリアル大学		多文化社会学部	2014年11月10日
170	ウィニペグ大学		多文化社会学部	2014年12月18日
171	カルガリー大学		多文化社会学部	2015年1月20日
172	フレーザーバレー大学		多文化社会学部	2015年9月10日
173	レスブリッジ大学	多文化社会学部	2015年11月2日	
174	メキシコ合衆国	メキシコ西部工科大学	多文化社会学部	2018年6月8日
175	ペルー共和国	サン・マルティン・デ・ポレス大学	医歯薬学総合研究科	2016年3月8日
176	イタリア共和国	トリノ工科大学	工学研究科	1997年8月1日
177		ナポリ大学フェデリコⅡ	工学研究科	1998年5月4日
178		トレント大学	医歯薬学総合研究科	2014年9月1日
179		カ・フォスカリ大学	経済学部	2014年12月19日
180		ルイジ・ヴァンヴィテッリ・カンパニア州大学	医歯薬学総合研究科	2016年2月29日
181		英 （グレートブリテン及び 北アイルランド連合王国）	ロンドン大学衛生熱帯医学大学院	熱帯医学・グローバルヘルス研究科
182	ヘリオットワット大学		工学研究科	2014年10月1日
183	エディンバラ大学		工学研究科	2014年10月1日
184	オックスフォード・ブルックス大学		多文化社会学部	2015年1月20日
185	ノーザンプリア大学		多文化社会学部	2015年2月18日
186	アバディーン大学		多文化社会学部	2015年7月6日
187	マンチェスター・メトロポリタン大学		多文化社会学部	2015年9月10日
188	ハイランド&アイルランド大学パース校		多文化社会学部	2015年10月6日

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年月日
189		キール大学	多文化社会学部	2015年11月4日
190	英 (グレートブリテン及び 北アイルランド連合王国)	スターリング大学	水産・環境科学総合研究科	2016年12月19日
191		ポーツマス大学	経済学部	2017年12月1日
192		ランカスター大学	水産・環境科学総合研究科	2018年11月12日
193	ドイツ連邦共和国	ヴェルツブルク大学	医歯薬学総合研究科	1996年9月26日
194		ヨハネス・グーテンベルク・マインツ大学	医歯薬学総合研究科	2010年6月21日
195		ライプニッツ予防研究・疫学研究所	原爆後障害医療研究所	2014年8月7日
196		マンハイム大学社会科学部	(多文化社会学部)	2015年1月7日
197		ゲオルク・ジモン・オーム大学ニュルンベルク	多文化社会学部	2015年2月26日
198		アウクスブルク応用科学大学	多文化社会学部	2015年6月19日
199		ホーフ応用科学大学	多文化社会学部	2015年9月10日
200		ハインリッヒ・ハイネ大学	医歯薬学総合研究科	2017年4月13日
201		ドルトムント工科大学 化学・化学生物学部	(工学研究科)	2018年10月5日
202	オランダ王国	ライデン大学	多文化社会学部, 医歯薬学総合研究科	1998年9月2日
203		ラドバウト大学	多文化社会学部	2016年1月27日
204		デルフト工科大学機械・海洋・材料工学部	(工学研究科)	2016年8月28日
205	ベルギー王国	アントワープ熱帯医学研究所	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2013年1月29日
206		ゲント大学人文・哲学部、経済経営部、生物工学部	経済学部, 水産・環境科学総合研究科	2015年3月18日
207		モンス大学	多文化社会学部	2015年11月26日
208		ルーヴァン・カトリック大学 (KU ルーヴァン) 文学部	(多文化社会学部)	2016年9月1日
209	フランス共和国	オートアルガス大学ミュールーズ国立高等学院	医歯薬学総合研究科	2005年9月9日
210		ギメ東洋美術館	(附属図書館)	2012年7月18日
211		ヨーロッパ・ビジネス・スクール パリ校	経済学部	2013年7月1日
212		アンジェ大学	医歯薬学総合研究科	2013年7月9日
213		パリ東＝クレティユ大学	多文化社会学部	2015年11月24日
214		フランス原子力防護評価研究所	医歯薬学総合研究科	2016年10月1日
215		ISCビジネススクールパリ校	経済学部	2017年2月20日
216	スペイン	ポンティフィシア・コミージャス大学	工学研究科	2013年7月25日
217		マラガ大学	多文化社会学部	2015年2月13日
218	ポルトガル共和国	ポルト大学	医歯薬学総合研究科	2010年11月23日
219		フェルナンドペソア大学	多文化社会学部	2015年2月12日
220		新リスボン大学	多文化社会学部	2018年7月31日
221	スウェーデン王国	ルンド大学工学部	(水産・環境科学総合研究科)	2015年8月13日
222	ノルウェー王国	ノルウェー科学技術大学	水産・環境科学総合研究科	2006年1月18日
223	ブルガリア共和国	プロブディフ医科大学	医歯薬学総合研究科	2013年7月29日
224	ポーランド共和国	クラクフ経済大学	経済学部	2016年2月17日
225		ワルシャワ経済大学	経済学部	2016年3月2日
226	クロアチア共和国	ザグレブ大学	グローバル連携機構	2018年4月1日

※ ( ) は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年月日
227	ルーマニア	ブカレスト工科大学	工学研究科	2016年7月12日
228	北マケドニア共和国	聖シリル・メソディウス大学	経済学部	2018年8月1日
229	ベラルーシ共和国	国立ベラルーシ医科大学	医歯薬学総合研究科	1996年5月29日
230		ゴメリ医科大学	医歯薬学総合研究科	2002年1月31日
231		ベラルーシ卒業後教育医学アカデミー	医歯薬学総合研究科	2008年7月11日
232	カザフスタン共和国	セメイ医科大学	医歯薬学総合研究科	1998年3月4日
233		カザフスタン放射線医学環境研究所	原爆後障害医療研究所	2002年12月18日
234		アスフェンディヤーロフ・カザフ国立医科大学	医歯薬学総合研究科	2009年8月26日
235		シズガノフ国立外科科学センター	医歯薬学総合研究科	2012年8月1日
236		セメイ市核医療・腫瘍センター	原爆後障害医療研究所	2018年11月30日
237	ウクライナ	国立ウクライナ医学アカデミー V.P.コミサレンコ内分泌代謝研究所	原爆後障害医療研究所	2003年2月21日
238		国立ウクライナ医学アカデミー放射線医学研究所	原爆後障害医療研究所	2003年2月21日
239		ウクライナ放射線防護研究所	原爆後障害医療研究所	2012年11月16日
240		ジトームル州立コロステン市 広域診断センター	医歯薬学総合研究科	2017年2月13日
241	ロシア連邦	ロシア連邦保健省国立医学研究放射線センター附属 ツィープ医学放射線研究センター	医歯薬学総合研究科	2002年7月5日
242		国立メーチニコフ名称北西医科大学	医歯薬学総合研究科	2008年6月30日
243		ロシア連邦保健省内分泌研究センター	医歯薬学総合研究科	2016年12月14日
244	ジョージア	トビリシ国立医科大学	医歯薬学総合研究科	2015年3月27日
245	ケニア共和国	ケニヤッタ大学	医歯薬学総合研究科	2004年3月29日
246		ケニア中央医学研究所	熱帯医学研究所	2004年11月12日
247		ナイロビ大学	医歯薬学総合研究科	2010年4月27日
248		ケニア国立海洋水産研究所	水産・環境科学総合研究科	2011年8月29日
249		モイ大学	工学研究科	2012年10月10日
250		マセノ大学	熱帯医学研究所	2013年6月21日
251	南アフリカ共和国	南アフリカ国立感染症研究所	熱帯医学研究所	2010年7月8日
252	タンザニア連合共和国	ムヒンビリ健康科学大学	医歯薬学総合研究科	2011年12月23日
253		ザンジバル州立大学	多文化社会学部	2018年7月2日
254	ザンビア共和国	ザンビア大学	医歯薬学総合研究科	2016年12月14日
255	コンゴ民主共和国	キンシャサ大学	熱帯医学研究所	2016年5月31日
256	ナイジェリア連邦共和国	ナイジェリア大学	熱帯医学研究所	2016年7月9日
257	エジプト・アラブ共和国	エジプト日本科学技術大学	熱帯医学研究所	2016年7月15日
258	セーシェル共和国	セーシェル大学	経済学部	2016年8月29日
259	アラブ首長国連邦	アラブ首長国連邦大学	医学部	2015年5月11日
260	イラン・イスラム共和国	テヘラン医科大学	医歯薬学総合研究科	2015年9月8日
261	トルコ共和国	イスタンブールゲリシム大学	工学研究科	2015年3月24日

※（ ）は部局間協定

教員の海外渡航及び外国人研究者受入数(平成30年度)

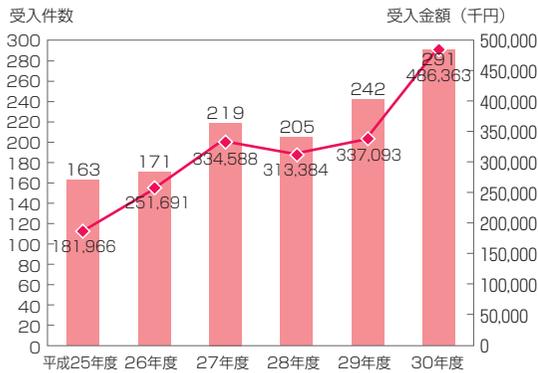
区 分		渡航者数	受入者数	区 分		渡航者数	受入者数		
アジア	中華人民共和国	106	8	ヨーロッパ	英国(グレートブリテン及び北アイルランド連合王国)	49	3		
	台 湾	78	1		EU	フランス共和国	29	1	
	大 韓 民 国	105	4		ドイツ連邦共和国	49	2		
	ASEAN諸国	フィリピン共和国	55		1	イタリア共和国	21	0	
		マレーシア	13		0	オランダ王国	29	2	
		タイ王国	64		10	そ の 他	91	11	
		インドネシア共和国	23		2	ス イ ス 連 邦	11	0	
		ベトナム社会主義共和国	86		17	そ の 他	3	1	
		シンガポール共和国	25		0	ロシア諸	ロ シ ア 連 邦	10	0
		ミャンマー連邦共和国	29		3		ベラルーシ共和国	10	0
		そ の 他	29		0		カザフスタン共和国	8	0
	そ の 他	54	7		そ の 他		2	0	
南北中央アメリカ	アメリカ合衆国	213	0	アフリカ	ケニア共和国	34	1		
	カナダ	27	0		南アフリカ共和国	6	0		
	ブラジル連邦共和国	2	0		そ の 他	50	4		
	そ の 他	7	0	大洋州	オーストラリア連邦	27	1		
中東	イラン・イスラム共和国	0	2		そ の 他	10	0		
	そ の 他	3	1	合 計	1,358	82			



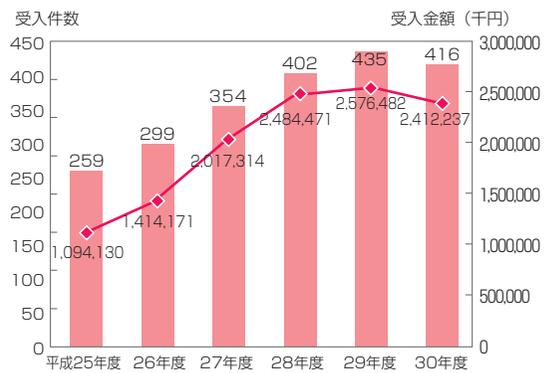
# 社会貢献

## 産学連携

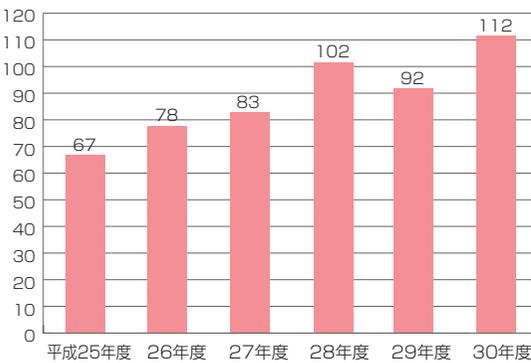
### 共同研究



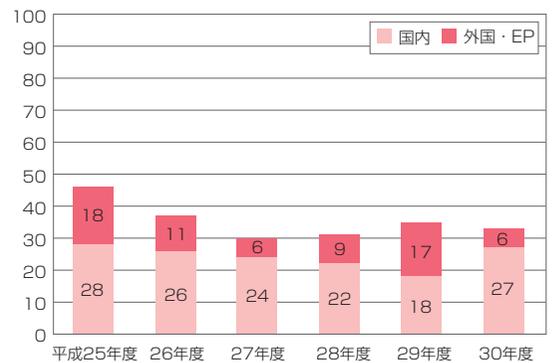
### 受託研究



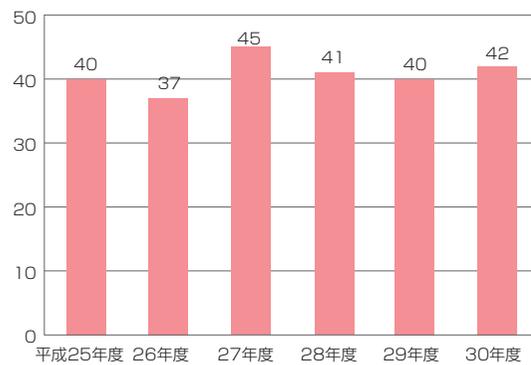
### 発明届件数



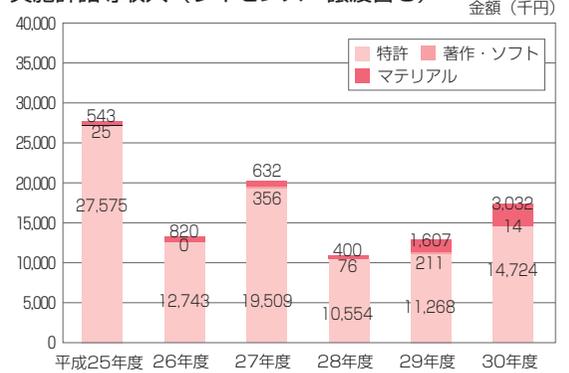
### 特許出願件数



### 実施許諾権利数



### 実施許諾等収入 (ライセンス・譲渡含む)

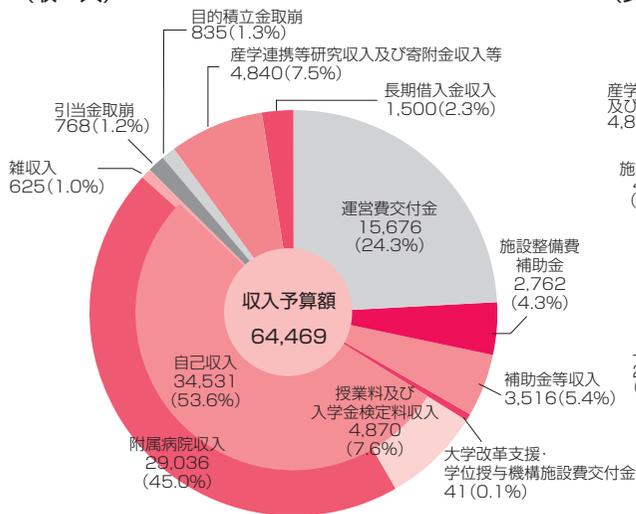




# 財 政

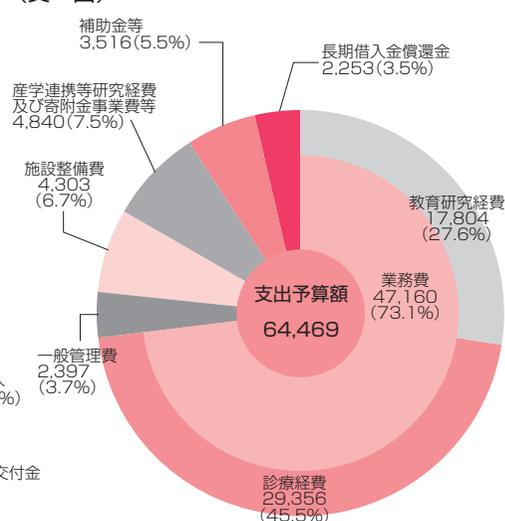
## 平成31年度予算額

### (収 入)



(単位:百万円)

### (支 出)



(単位:百万円)

## 外部資金等

### ■ 科学研究費助成事業

2019. 5. 1

研究種目	内定件数	予算額 (千円)
新学術領域研究	6	14,300
基盤研究 (S)	1	31,400
基盤研究 (A)	5	40,700
基盤研究 (B)	77	282,700
基盤研究 (C)	324	352,700
挑戦的研究 (開拓)	0	0
挑戦的研究 (萌芽)	14	24,600
挑戦の萌芽研究	0	0
若手研究	121	151,900
若手研究 (A)	2	5,700
若手研究 (B)	28	20,900
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (B))	1	2,600
研究活動スタート支援	9	9,700
特別研究員奨励費	15	13,100
合 計	603	950,300

配分予算額は直接経費のみを示している。

### ■ 寄附金

平成30年度

件 数	金 額 (千円)
3,539	1,136,716

### ■ 受託研究経費

平成30年度

件 数	金 額 (千円)
416	2,412,237

### ■ 民間等との共同研究

平成30年度

件 数	金 額 (千円)
291	486,363



# キャンパス

## 文教キャンパス



事務局  
 多文化社会学部  
 教育学部  
 薬学部  
 工学部  
 環境科学部  
 水産学部  
 附属図書館

- ① 時計台と大壁画
- ② 捕鯨砲
- ③ 若人の像
- ④ グローバル教育・学生支援棟  
文教スカイホール
- ⑤ 長崎創楽堂
- ⑥ 核兵器廃絶研究センター (RECNA)
- ⑦ 附属図書館 (中央図書館) ギャラリー
- ⑧ 下村脩名誉博士顕彰記念館
- ⑨ 附属薬用植物園
- ⑩ お薬の歴史資料館
- ⑪ 原爆慰霊碑
- ⑫ 三菱兵器製作所の碑
- ⑬ おもやい広場とビオトープ
- ⑭ ヒトツバタゴ
- ⑮ A&T Lab 爽創館
- ⑯ 女性の銅像「風の中で」

## 坂本キャンパス ①

**医学部(医学科)**  
**熱帯医学研究所**  
**原爆後障害医療研究所**  
**熱帯医学・グローバルヘルス研究科**



## 坂本キャンパス ②

医学部(保健学科)  
歯学部  
薬学部  
大学病院

- ① すかいらうんじ ぼんべ
- ② 水壺を捧げる子供の像
- ③ 被爆したクスノキ
- ④ 院内ぎやらリー
- ⑤ コリドール
- ⑥ 長崎医科大学附属病院碑
- ⑦ コンビニ
- ⑧ 生協食堂
- ⑨ 売店
- ⑩ コーヒーショップ
- ⑪ 郵便局





## 厚生補導施設等

### 体育施設

施設名 地区名	体 育 館	弓 道 場	柔 道 場	剣 道 場	武 道 場	テ ニ ス コ ー ト	グ ラ ウ ン ド	バ レ ー コ ー ト	フ ー ル	ハ ン ド ボ ー ル コ ー ト	備 考
文 教 地 区	2	1	1	1		8	1	2	1	1	・柔道場、剣道場及び武道場は各地区の体育館内 ・文教地区バレーコートはテニスコートと兼用
片 淵 地 区	1					4	1				
坂 本 地 区	2	1			1	2	1				
計	5	2	1	1	1	14	3	2	1	1	

### その他主たる施設

名 称	部 局	場 所	主 な 施 設	主 な 事 業	事 業 体
臨海研修所	学生支援部	西彼杵郡時津町子々川郷	宿 泊 施 設 食 堂 ポ ー ト	学生の課外活動 教職員研修会 レクリエーション	長崎大学
九州地区国立大学 島原共同研修センター	//	島原市礪石原町甲1201	宿 泊 施 設 体 育 施 設	研 修 会 レクリエーション	長崎大学
課 外 活 動 共 用 施 設	//	文教町1-14 長崎大学文教地区構内	共用室・研修室 ミーティングルーム	学生の課外活動	長崎大学
学 生 会 館	//	//	就職支援・キャリア情報コーナー 共用談話室・集会室 和室・茶室 多目的室 食堂・喫茶 売 店 美 容 室	就職情報の収集、提供、相談 学生の課外活動 食 品 販 売 食 堂 ・ 喫 茶 書 籍 ・ 日 用 品 販 売 美 容	長崎大学 長崎大学生協同組合 業者
学 生 プ ラ ザ	//	//	多目的ホール1 多目的ホール2	学生の課外活動	長崎大学
グローバル教育・ 学生支援棟	//	//	文教スカイホール	講義、講演会 学生の課外活動	長崎大学
学生交流プラザ	//	//	ｽﾏｰﾄﾎﾞｶﾙｶﾞﾐﾆﾃﾞﾝｸﾞﾙｰﾑ	学生の課外活動	長崎大学
課 外 活 動 等 共 用 施 設	経済学部	片淵4丁目2-1 長崎大学経済学部構内	談 話 室 共 用 室 共 有 会 議 室 音 楽 練 習 室 制 作 室 ・ 暗 室 研 修 室	学生の課外活動	長崎大学
坂本1団地地区 課外活動共用施設	医学部 医学科	坂本1丁目12-4 長崎大学医学部構内	共 用 室 音 楽 練 習 室 室 外 器 具 庫	学生の課外活動	長崎大学

名 称	部 局	場 所	主 な 施 設	主 な 事 業	事 業 体
坂本2団地地区 課外活動共用施設	医 学 部 保健学科	坂本1丁目7-1 長崎大学医学部保健学科構内	談 話 室 器 具 庫	学生の課外活動	長 崎 大 学
扶 揺 会 館	経 済 学 部	片淵4丁目2-1 長崎大学経済学部構内	談 話 室 食 堂 ・ 売 店	食堂・書籍・日用品販売	長 崎 大 学 長崎大学生協同組合
福利厚生施設	医 学 部 医 学 科	坂本1丁目12-4 長崎大学医学部構内	談 話 室 食 堂 ・ 売 店	食 堂 書籍・食品・日用品販売	長 崎 大 学 長崎大学生協同組合
//	歯 学 部	坂本1丁目7-1 長崎大学歯学部構内	学 生 自 習 室 ・ セミナー室・和室 食 堂	学生の課外活動 食 堂	長 崎 大 学 長崎大学生協同組合
//	医 学 部 保健学科	坂本1丁目7-1 長崎大学医学部保健 学科構内（2店舗）	食 売 店	食 日 用 品 販 売 店	長崎大学生協同組合

## 土地・建物・船舶

### 土地・建物

施 設 等	所 在 地	土 地 (㎡)		建 物 (㎡)	
		大 学	借 用	大 学	借 用
文 教 キ ャ ン パ ス	長崎市文教町1-14	187,125		41,351 121,127	
教 職 員 施 設 (観月荘)	長崎市上西山町11-1, 11-13	903		228 399	
臨 海 研 修 所	西彼杵郡時津町子々川郷	1,451	229	371 616	
教育学部附属幼稚園, 附属小学校, 附属中学校	長崎市文教町4-23	51,185		8,985 16,157	
教育学部附属特別支援学校	長崎市柳谷町42-1	12,529		2,452 3,527	
片 淵 キ ャ ン パ ス	長崎市片淵4丁目2-1	51,723		6,840 16,422	
坂 本 キ ャ ン パ ス 1	長崎市坂本1丁目12-4	92,176		20,404 63,264	
医 学 部 納 骨 堂	長崎市銭座町4-59		48	13 13	
坂 本 キ ャ ン パ ス 2	長崎市坂本1丁目7-1	86,807		31,757 169,386	
野 母 崎 研 究 施 設	長崎市野母町野母1321	15,899		448 448	
海洋未来イノベーション機構 環東シナ海環境資源研究センター	長崎市多以良町1551-7	10,900		1,688 2,648	
職 員 宿 舎		22,434		2,600 11,335	1,106 3,304

施設等	所在地	土地 (㎡)		建物 (㎡)	
		大学	借用	大学	借用
九州地区国立大学島原共同研修センター	島原市礫石原町甲1201	120,286		1,793 2,329	
国際交流会館	長崎市西町12-1	3,044		635 1,837	499 1,300
職員宿舎		3,008			910 2,414
国際学寮ホルテンシア	長崎市白鳥町8-77, 8-78		3,142		722 2,166
計		659,470	3,419	119,565 409,508	3,237 9,184
合計			662,889	122,802 418,692	

#### 船舶

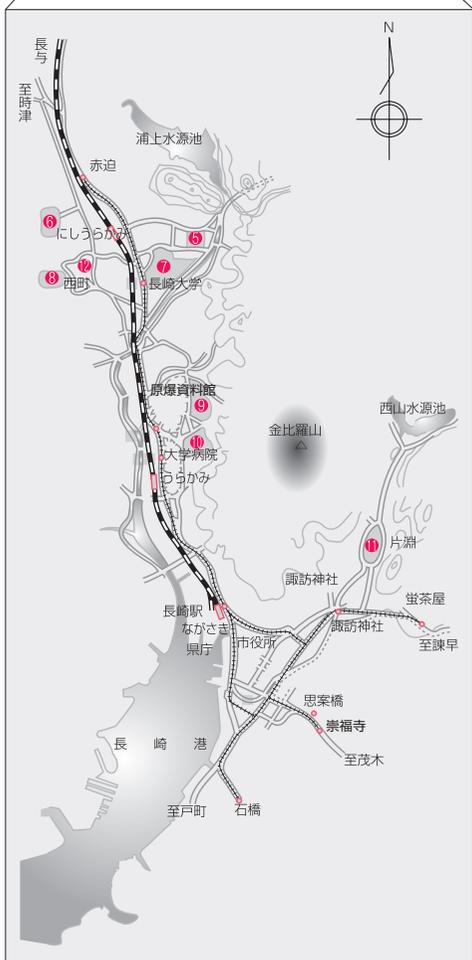
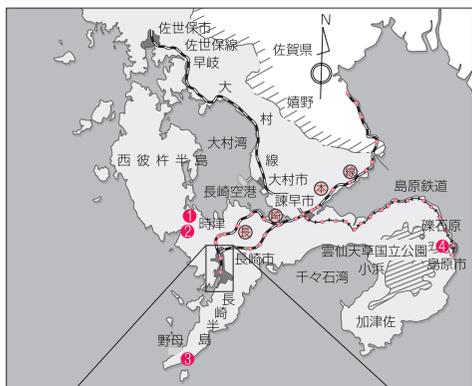
所属	船名	構成	総トン数	出力	備考
水産学部	長崎丸	鋼船	1,507.00	1,000kw×2	教員, その他の船員30名, 学生収容人員40名
	鶴洋丸	アルミニウム合金船	249.00	1,050kw×2	教員, その他の船員18名, 学生収容人員18名
学生支援部	琴風	F R P	1.7	90	救助艇, 乗船定員10名

## 部局等所在地一覧

部局の名称	電話番号	所在地
・計画・評価本部	095-819-2020	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・広報戦略本部	095-819-2007	//
・原子力災害対策戦略本部	095-819-8536	〒852-8501 長崎市坂本1丁目7-1
・インスティテューショナル・リサーチ推進本部	095-819-2152	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・海洋未来イノベーション機構	095-819-2039	//
環東シナ海環境資源研究センター	095-850-7311	〒851-2213 長崎市多以良1551-7
・グローバル連携機構	095-819-2043	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・研究開発推進機構		//
研究推進部門	095-819-2231、095-819-2208	
知的財産部門	095-819-2188	
リスクマネジメント部門	095-800-4114	
設備共同利用部門	095-819-2465	
人材育成部門	095-819-2229	
・地方創生推進本部	095-819-3052	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・感染症共同研究拠点	095-819-2966	//
・監査室	095-819-2182	//
・事務局	095-819-2016 (総務企画課)	//
	095-819-2032 (人事課)	
	095-819-2039 (学術推進課)	
	095-819-2043 (国際企画課)	
	095-819-2050 (財務企画課)	
	095-819-2060 (財務管理課)	
	095-819-2161 (調達課)	
	095-819-2072 (教育支援課)	
	095-819-2103 (学生支援課)	
	095-819-2111 (入試課)	
	095-819-2131 (施設企画課)	
	095-819-2137 (施設整備課)	
	095-819-2141 (施設管理課)	
	095-819-2022 (情報企画課)	
	095-819-2193 (学術情報管理課)	
・保健・医療推進センター	095-819-2214	//
・先導生命科学研究支援センター		
アイソトープ実験施設	095-819-7150	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
動物実験施設	095-819-7134	//
遺伝子実験施設	095-819-7191	//
・ICT基盤センター	095-819-2222	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・大学教育イノベーションセンター	095-819-2077	//
・言語教育研究センター	095-819-2077	//
・核兵器廃絶研究センター	095-819-2164	//
・環境保全センター	095-819-2247	//
・留学生教育・支援センター	095-819-2124	//
・学務情報推進室	095-819-2072	//
・やってみゅーでスク	095-819-2870	//
・ダイバーシティ推進センター	095-819-2889	//
・先端創薬イノベーションセンター	095-819-2230	//
・地域教育総合支援センター	095-819-2184	//

部 局 の 名 称	電 話 番 号	所 在 地
・障がい学生支援室	095-819-2006	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・福島未来創造支援研究センター	095-819-7098	//
・国際交流会館	095-845-0201	〒852-8043 長崎市西町12-1
・国際交流会館坂本分館	095-819-7519	〒852-8102 長崎市坂本1丁目7-1
・子どもの心の医療・教育センター	095-819-7926 (FAX番号)	//
・国際学寮ホルテンシア	095-819-2103	〒852-8042 長崎市白鳥町8-77, 8-78
・臨海研修所	095-882-8301	〒851-2111 西彼杵郡時津町子々川郷
・九州地区国立大学島原共同研修センター	0957-64-2201	〒855-0026 島原市礪石原町甲1201
・東京事務所	03-6257-1940	〒160-0004 東京都新宿区四谷1-10-2 長崎県東京産業支援センター303号室
・多文化社会学部	095-819-2934	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・教育学部	095-819-2263	//
附属幼稚園	095-819-2288	〒852-8131 長崎市文教町4-23
附属小学校	095-819-2272	//
附属中学校	095-819-2278	//
附属特別支援学校	095-845-5646	〒852-8046 長崎市柳谷町42-1
・経済学部	095-820-6300	〒850-8506 長崎市片淵4丁目2-1
・医学部		
医学科	095-819-7004	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
保健学科	095-819-7900 (番号案内)	〒852-8520 長崎市坂本1丁目7-1
・病院	095-819-7200 //	〒852-8501 //
・歯学部	095-819-7600 //	〒852-8588 //
・薬学部	095-819-2413	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・工学部	095-819-2489	//
・環境科学部	095-819-2713	//
・水産学部	095-819-2793	//
水産学部附属練習船長崎丸	090-3023-5210	〒851-2213 長崎市多以良町
水産学部附属練習船鶴洋丸	090-3022-2044	//
・熱帯医学研究所	095-819-7800 (番号案内)	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
附属アジア・アフリカ感染症 研究施設	//	//
附属熱帯医学ミュージアム	095-819-7868	//
・原爆後障害医療研究所	095-819-7004	//
・附属図書館(中央図書館)	095-819-2193	〒852-8521 長崎市文教町1-14
附属図書館(医学分館)	095-819-7013	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
附属図書館(経済学部分館)	095-820-6309	〒850-8506 長崎市片淵4丁目2-1
・多文化社会学研究科	095-819-2934	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・工学研究科	095-819-2489	//
・水産・環境科学総合研究科		
水産科学領域	095-819-2793	//
環境科学領域	095-819-2713	//
・生産科学研究科	095-819-2491	//
・医歯薬学総合研究科(医学系)	095-819-7004	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
(保健学系)	095-819-7900 (番号案内)	〒852-8520 長崎市坂本1丁目7-1
(歯学系)	095-819-7600 //	〒852-8588 //
(薬学系)	095-819-2413	〒852-8521 長崎市文教町1-14
附属薬用植物園	//	//
・熱帯医学・グローバルヘルス研究科	095-819-7008	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4

## 長崎大学位置図



- ① 臨海研修所
- ② 海洋未来イノベーション機構 環東シナ海環境資源研究センター
- ③ 野母崎研究施設
- ④ 九州地区国立大学島原共同研修センター
- ⑤ 教育学部附属幼稚園, 附属小学校, 附属中学校
- ⑥ 教育学部附属特別支援学校
- ⑦ 計画・評価本部, 広報戦略本部, インスティテューショナル・リサーチ推進本部, 海洋未来イノベーション機構, グローバル連携機構, 研究開発推進機構, 地方創生推進本部, 感染症共同研究拠点, 監査室, 事務局, 多文化社会学部, 教育学部, 教育学研究科, 薬学部, 工学部, 環境科学部, 水産学部, 附属図書館, 多文化社会学研究科, 工学研究科, 水産・環境科学総合研究科, 医歯薬学総合研究科(薬学系), 附属薬用植物園, 保健・医療推進センター, ICT 基盤センター, 大学教育イノベーションセンター, 言語教育研究センター, 核兵器廃絶研究センター, 環境保全センター, 留学生教育・支援センター, 学務情報推進室, やってみゅーでスク, ダイバーシティ推進センター, 先端創薬イノベーションセンター, 地域教育総合支援センター, 障がい学生支援室, 福島未来創造支援研究センター
- ⑧ 国際交流会館
- ⑨ 医学部(医学科), 熱帯医学研究所, 原爆後障害医療研究所, 医歯薬学総合研究科(医学系), 先端生命科学研究支援センター, 附属図書館(医学分館), 熱帯医学・グローバルヘルス研究科
- ⑩ 病院, 歯学部, 薬学部  
医歯薬学総合研究科(保健学系・歯学系・薬学系), 医学部(保健学科), 国際交流会館坂本分館, 原子力災害対策戦略本部, 子どもの心の医療・教育センター
- ⑪ 経済学部, 経済学研究科, 附属図書館(経済学部分館)
- ⑫ 国際学寮ホルテンシア

## 長崎大学ロゴマーク

### 正式ロゴマーク



従来、長崎大学で使用されていたシンボルマーク（帆船マーク）は、昭和24年に大学構成員の連帯意識を高め、総合大学として発展するための心のよりどころとして、鎖国時代の文化の門戸であった長崎に因むオランダ船の舳先にNU(Nagasaki University)の頭文字を付け、右肩に「大學」の字を配したマークが制定されました。

国立大学法人化を機に従来のシンボルマークを精緻化し、新たに正式ロゴマークとして平成17年4月1日に制定したものです。

### 略式ロゴマーク



正式ロゴマークとは別に広く使用するものとして新たに略式ロゴマークを平成17年4月1日に制定しました。

中央にある“黄色系の図形”は「学生・教職員」を、右にある“緑色系の図形”は自然環境の豊かな「地域・日本国土」を、そして左にある“青色系の図形”は「地域・日本国土」を取り巻く「広大な海とその先にある国際社会」を表します。

これらの図形の“重なり”はそれぞれの分野での「調和と貢献」を、また“黄色系の円”は「創造」を表しています。

全体を見ると「学生・教職員」と「地域・日本国土」とにより形作られる“人”と「国際社会」とにより形作られた“人”とはさらに合わさって、「長崎大学」を表す“N”を構成しています。









国立大学法人

長崎大学

NAGASAKI UNIVERSITY

---

【編集発行】長崎大学広報戦略本部

〒852-8521 長崎市文教町1-14

TEL 095-819-2007

URL <http://www.nagasaki-u.ac.jp/>

---

2019年7月発行